

平成24年度 第3回

杉並区インターネット区民アンケート

集計結果報告書

「区立施設の再編整備・保育施設の利用者
負担の見直し」について



平成24年11月実施

杉並区総務部区政相談課

調査の概要

1 調査の目的

区立施設の多くが築30年を超える更新時期を迎え、今後、改築や大規模改修に要する経費の増加が予測されるなか、施設の効率的運用、住民の利便性の向上、まちの活性化という3つの視点を基本に、施設の統廃合等を多角的に検討していくことが求められて

また、働きながら安心して子どもを産み育てたい子育て世代からの保育需要に応えるため、保育施設を整備し、保育所入所待機児童の解消に取り組んでいますが、負担の公平性などの観点から、認可保育所保育料など保育施設の利用者負担のあり方について見直しが必要となっています。

そこで、区民の皆様幅広いご意見をお聞かせいただき、今後の取り組みの参考とさせていただきますため、アンケートを実施しました。

2 調査の内容

区立施設の再編整備・保育施設の利用者負担の見直しについて

3 調査期間

平成24年11月5日～11月25日

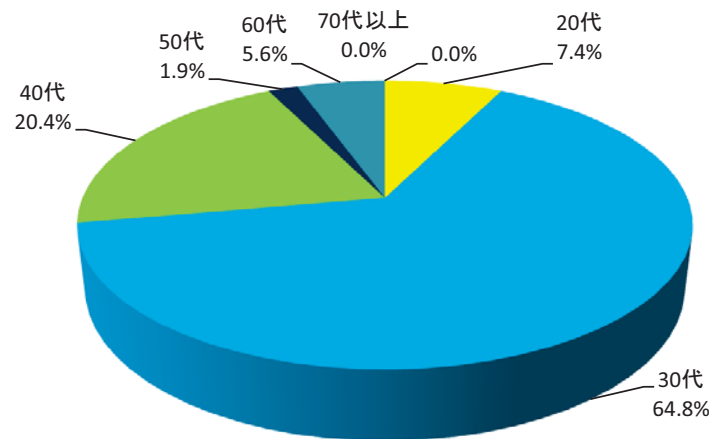
4 回答者数

54人

5 回答者構成

単位：人

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
男性	0	2	5	0	0	2	0	9
女性	0	2	30	11	1	1	0	45
合計	0	4	35	11	1	3	0	54



6 集計・分析にあたって

- (1) 各項の初めにあるNは、回答者数を表している。
- (2) 百分率は、小数第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100%にならない場合がある。

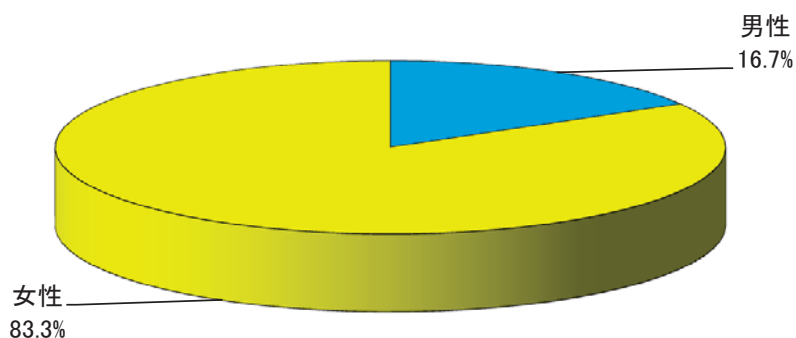
「区立施設の再編整備・保育施設の利用者負担の見直し」について(区民アンケート)

(この設問は必ず回答してください)

問1. あなたの性別をお答えください。

N = 54

	性別	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
1	男性	9	16.7%	2	5	2	0
2	女性	45	83.3%	2	41	2	0
	合計	54	100%	4	46	4	0

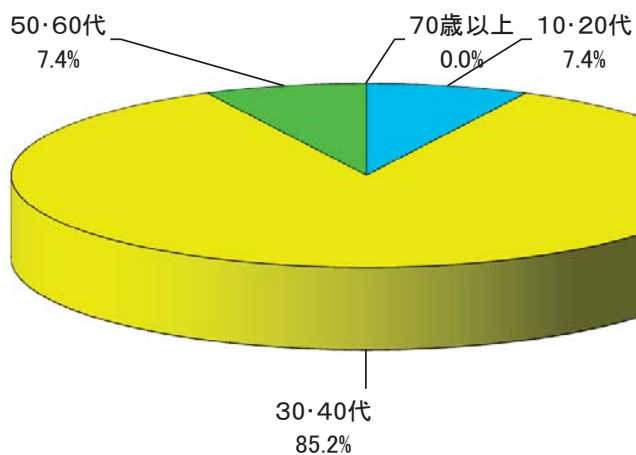


(この設問は必ず回答してください)

問2. あなたの年齢をお答えください。

N = 54

	性別	全体		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
1	男性	9	16.7%	2	5	2	0
2	女性	45	83.3%	2	41	2	0
	合計・%	54	100%	7.4%	85.2%	7.4%	0.0%



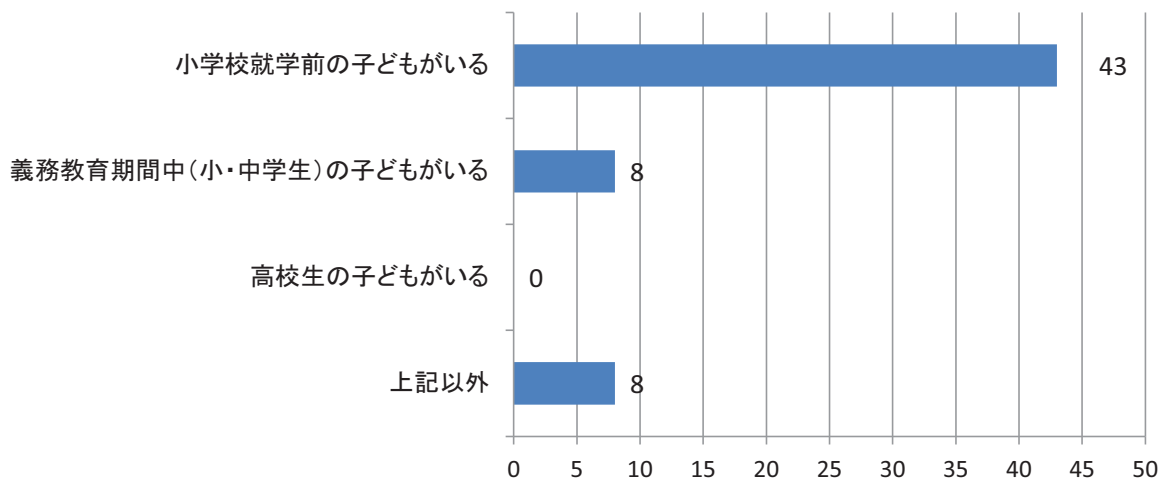
(この設問は必ず回答してください)

問3. お子さんの状況についてお答えください。(複数回答可)

(回答は1個以上選択して下さい)

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	小学校就学前の子どもがいる	43	79.6%	男性	5		5		
				女性	38	2	35	1	
②	義務教育期間中(小・中学生)の子どもがいる	8	14.8%	男性	0				
				女性	8		8		
③	高校生の子どもがいる	0	0.0%	男性	0				
				女性	0				
④	上記以外	8	14.8%	男性	4	2		2	
				女性	4		3	1	
合計		59		男性	9	2	5	2	0
				女性	50	2	46	2	0



(この設問は必ず回答してください)

問4. 区立施設の再編整備について

問4から問23までは、下記の参考資料1「区立施設再編整備アンケート資料」をクリックしてご覧のうえ、お答えください。

現在、区の施設の約50%は築30年を超えており、今後一斉に更新時期を迎え、その経費は今後30年間で約2,766億円かかると推計しております。厳しく先行き不透明な区財政の状況、少子高齢化の進展に伴う人口構成の変化、施設の利用ニーズの変化など施設を取り巻く環境が変わる中で、区としては、区立施設の再編(統廃合など)は避けて通ることができない課題と考えています。このことに対する、あなたの考えに近いものを一つ選んでください。

参考資料1は、こちら(下記)をクリックするとご覧になれます。

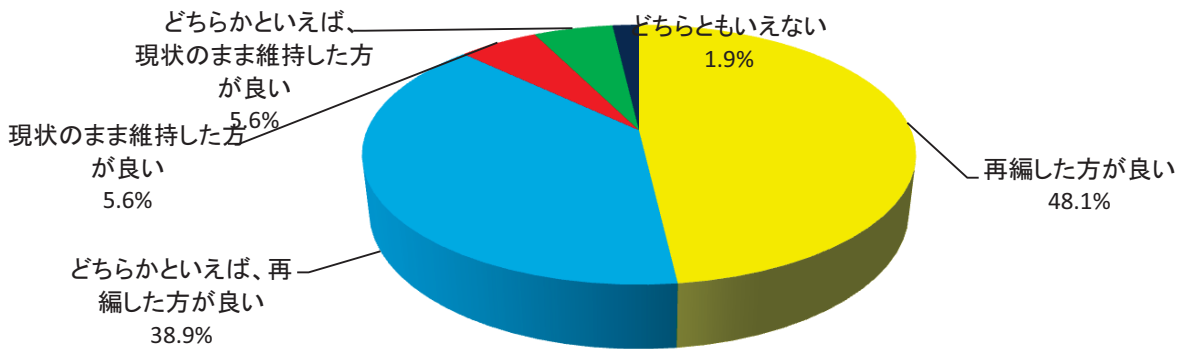
区立施設再編整備アンケート資料

※報告書巻末に資料のページがあります。

問4. (集計結果)

N= 54

	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 再編の方が良い	26	48.1%	男性	5	2	3		
			女性	21	2	19		
② どちらかといえば、再編の方が良い	21	38.9%	男性	2		1	1	
			女性	19		18	1	
③ 現状のまま維持した方が良い	3	5.6%	男性	1		1		
			女性	2		2		
④ どちらかといえば、現状のまま維持した方が良い	3	5.6%	男性	1			1	
			女性	2		2		
⑤ どちらともいえない	1	1.9%	男性	0				
			女性	1			1	
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
			女性	45	2	41	2	0

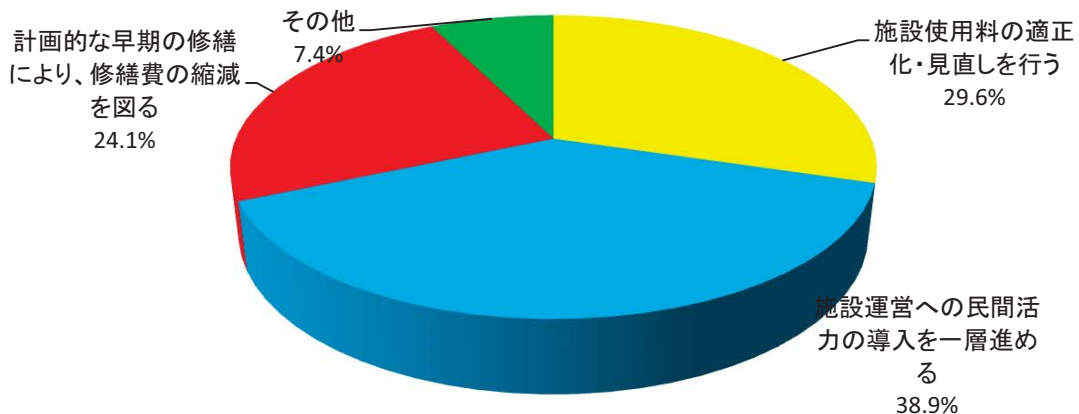


(この設問は必ず回答してください)

問5. 施設の運営には更新経費に加えて、毎年度、維持管理経費(ランニングコスト)がかかります。平成23年度の学校を除く施設の維持管理経費は約217億円でした。施設運営の効率化を図らないと維持管理経費が区財政を圧迫することは必至であると考えております。この対応策として、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は一つ)

N= 54

	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 施設使用料の適正化・見直しを行う	16	29.6%	男性	3		2	1	
			女性	13		12	1	
② 施設運営への民間活力の導入を一層進める	21	38.9%	男性	2	1		1	
			女性	19	1	18		
③ 計画的な早期の修繕により、修繕費の縮減を図る	13	24.1%	男性	2		2		
			女性	11	1	10		
④ その他(※ 具体的に下記の空欄へご記入ください)	4	7.4%	男性	2	1	1		
			女性	2		1	1	
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
			女性	45	2	41	2	0



問5. その他(※ 具体的に下記の空欄へご記入ください)

・廃止

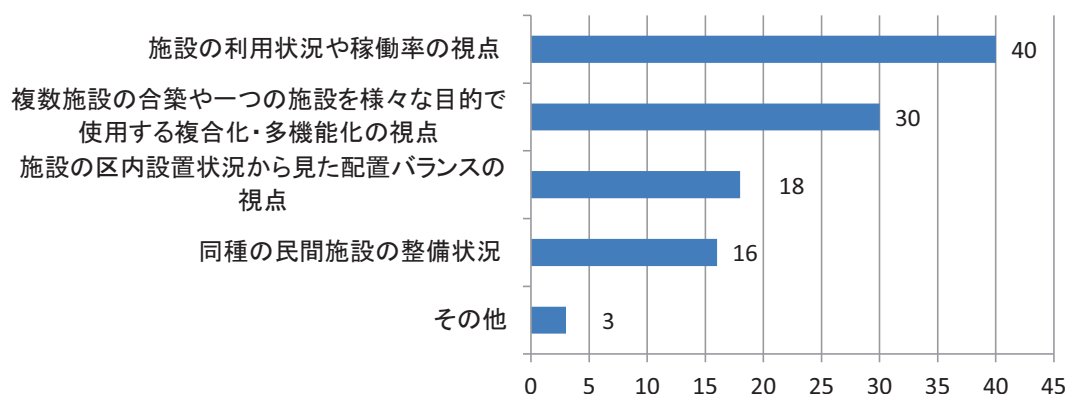
- ・施設使用料の適正化・見直しとともに、抜本的な解決策として施設の統廃合が必要と考える。指定管理の導入では結局コストはかかり続けるため、民間事業者で行えるものはそれを活用する手段を考えるべきと思う。
- ・◎施設運営に必要なランニングコストは当然と考えます。かつて必要とされ建設された施設なので当然維持のためのコストを見込んで区財政を考えているのではないのでしょうか。◎上記基本として、これからの社会にとって保育園は学校と同等に区民生活、国民生活に不可欠と考えます。他、社会福祉事業についてはしっかり公的財源基盤を整えて欲しいと思います。◎その他施設については、時代の推移とともに利用者の意向も変化していると思いますので、利用料の見直しというより施設の必要度を再度検討していく必要は感じます。
- ・回答3はもとより、業者の選別、交渉、管理コストが低く、耐久性のある素材選びは必須だと思います。

(この設問は必ず回答してください)

問6. 施設の再編を行う場合、どのような視点から検討する必要があると思いますか。必要と思うものを選んでください。(回答は1個以上選択して下さい)

N= 54

	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	数	割合	男性	女性				
① 施設の利用状況や稼働率の視点	40	74.1%	男性	7	2	4	1	
			女性	33	2	29	2	
② 複数施設の合築や一つの施設を様々な目的で使用する複合化・多機能化の視点	30	55.6%	男性	3	1	1	1	
			女性	27	1	25	1	
③ 施設の区内設置状況から見た配置バランスの視点	18	33.3%	男性	3	1	1	1	
			女性	15		14	1	
④ 同種の民間施設の整備状況	16	29.6%	男性	5	1	3	1	
			女性	11	1	10		
⑤ その他(※ 具体的に下記の空欄へご記入ください)	3	5.6%	男性	0				
			女性	3		3		
合 計	107		男性	18	5	9	4	0
			女性	89	4	81	4	0



問6. その他(※ 具体的に下記の空欄へご記入ください)

- ・施設の利用状況や稼働率の視点とも重なるのですが、認可保育園への入園を希望しながら入園できない児童の多さは異常と思われます。待機児童数都内2位の練馬区の今年4月の入園状況は、募集定員2484人に対し、入園希望者3655人、つまり、入園希望者が募集定員よりも1171人多いことになっています。しかし、待機児童数36位の杉並区は、募集定員1049人に対し、入園希望者が2560人。つまり入園希望者が1511人多いことになっています。こどもの確かな育ちを考える保護者の立場としては、認可保育園への入園を希望しています。そういう児童や保護者がこれだけ多いにも関わらず、杉並区として認可保育園の

問6. その他(つづき)

増設計画が需要に見合っていないように見受けられます。「子育てしやすい杉並」であって欲しいと保護者は思っておりますし、確かに杉並区はそこを目指しているのではないのでしょうか。あと数年で専業主婦家庭と兼業主婦(共働き)家庭の比率は逆転と言われております。ぜひ早期の対応をお願いしたいと思います。

- ・人口動態と利用状況を分析し、当面喫緊の補充が必要なもの、今後3～5年に必要なくなるもの/需要が増えるもの、を調査。そのうえで、施設運営に関しては、経済合理性とサービス満足度の最適値を勘案し決定する。
- ・保育、学童、介護、障害者施設は絶対に必要。区民センター・体育館等の娯楽等に利用される施設は十二分に再編の余地あり。区民住宅がどのように利用されているのかわからないが、施設を維持・管理するのではなく、低価格の住宅が必要なら生活保護のように実費支給すればいい。そのほうがコストが安く済むのではないか。
- ・複数施設の合築等の場合、交通の便や駐輪場・駐車場スペースが十分に確保できるか等を考慮に入れるべき。
- ・◎利用目的が明確なもの(運動・体育施設・集会及び会議利用等)については 多くなくてもそこに出向くと思うので東西南北、に収容数を考えて統合することも大切。

問7. (この設問は必ず回答してください) 下記の区立施設について、設問22までお聞きします。

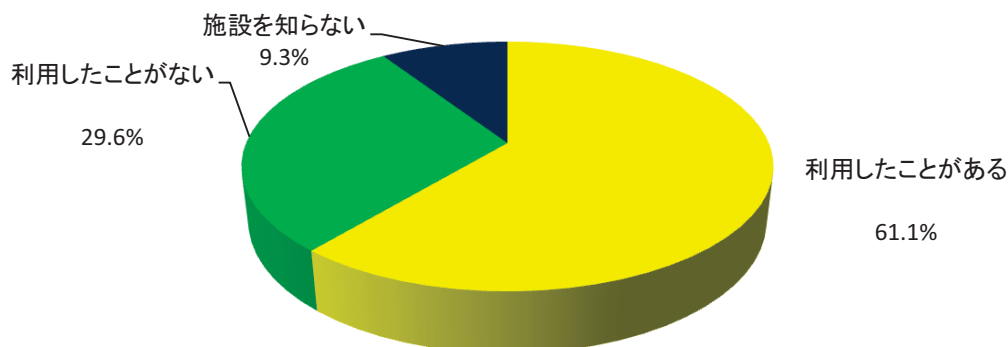
あなたの利用状況として次の3つの選択肢の中から最も近いものを一つ選んでください。

- 特別養護老人ホームやふれあいの家といった高齢者施設など、現在は、区立となっていない施設は除外しています。
- 同じく区立小・中学校についても、別途、教育委員会において再編の検討を行うため、除外しています。
- 区立施設は、次の3つの設置基準に基づき整備してきました。
 - ・地域的施設＝杉並区に7つ設定されている「地域」を一つの単位として、地域ごとに必要数を算定し、整備するもの。
 - ・近隣施設＝杉並区に46設定されている「地区」を一つの単位として、地区ごとに必要数を算定し、整備するもの。
 - ・広域的施設＝杉並区全域を一つの単位として、必要数を算定し整備するもの。

「地域区民センター」(区内に7施設。地域的施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	利用したことがある	33	61.1%	男性	2			1	1
				女性	31	2	27	2	
②	利用したことがない	16	29.6%	男性	6	2	3	1	
				女性	10		10		
③	施設を知らない	5	9.3%	男性	1		1		
				女性	4		4		
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0

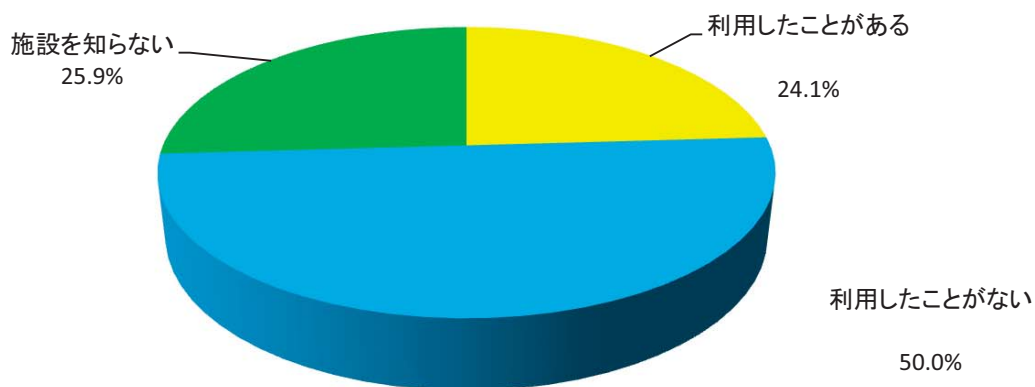


問8. (この設問は必ず回答してください)

「区民集会所」(区内に10施設。地域的施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	13	24.1%	男性	1			1		
			女性	12		1	9	2	
② 利用したことがない	27	50.0%	男性	6	1	3	2		
			女性	21	1	20			
③ 施設を知らない	14	25.9%	男性	2	1	1			
			女性	12		12			
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

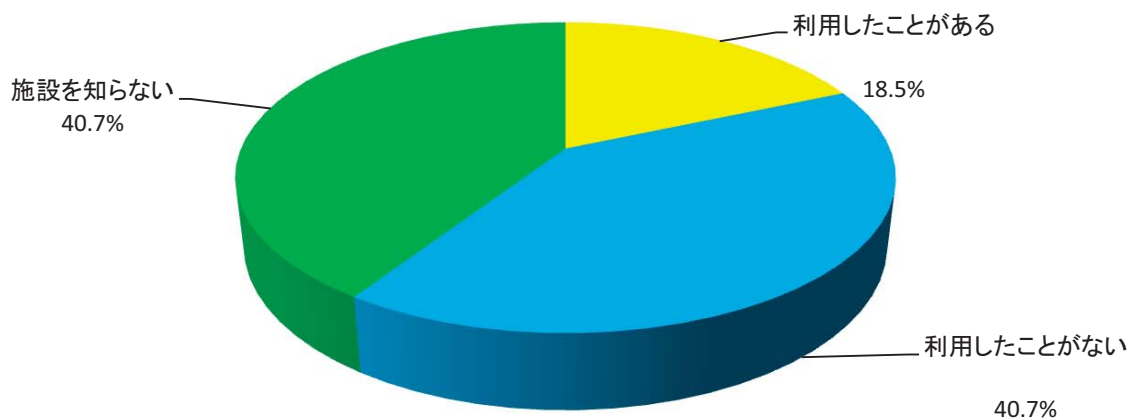


問9. (この設問は必ず回答してください)

「区民事務所会議室」(区内に18施設。地域的施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	10	18.5%	男性	1			1		
			女性	9		8	1		
② 利用したことがない	22	40.7%	男性	4		3	1		
			女性	18	2	15	1		
③ 施設を知らない	22	40.7%	男性	4	2	1	1		
			女性	18		18			
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

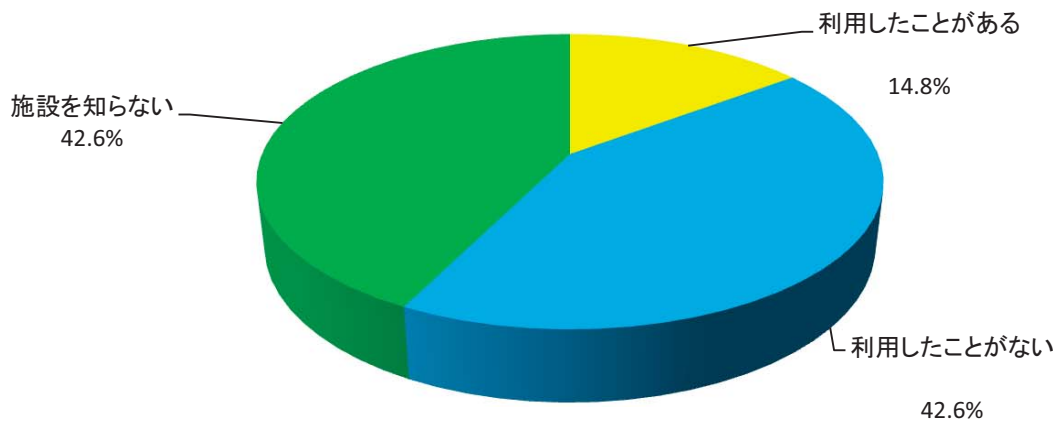


問10. (この設問は必ず回答してください)

「区民会館」(区内に4施設。地域の施設)について

N = 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	8	14.8%	男性	2			1	1	
			女性	6	1	3	2		
② 利用したことがない	23	42.6%	男性	4			3	1	
			女性	19	1	18			
③ 施設を知らない	23	42.6%	男性	3	2	1			
			女性	20		20			
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

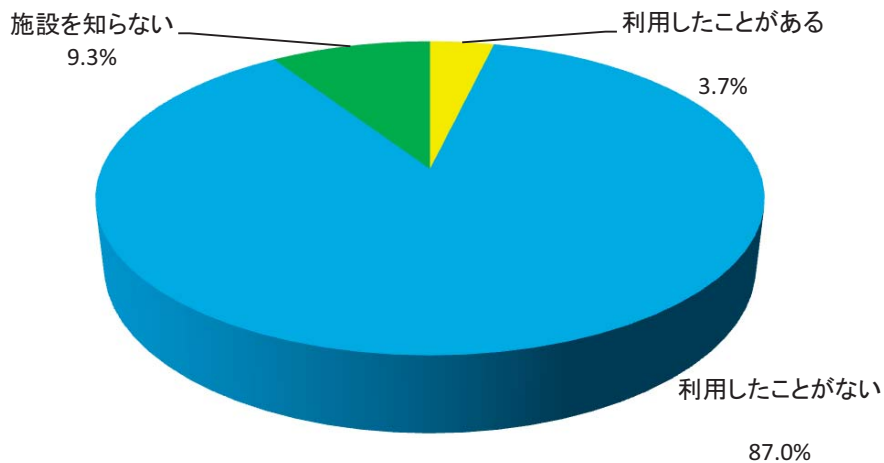


問11. (この設問は必ず回答してください)

「ゆうゆう館(旧敬老会館)」(区内に32施設。近隣施設)について

N = 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	2	3.7%	男性	0					
			女性	2		2			
② 利用したことがない	47	87.0%	男性	7	1	4	2		
			女性	40	2	36	2		
③ 施設を知らない	5	9.3%	男性	2	1	1			
			女性	3		3			
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

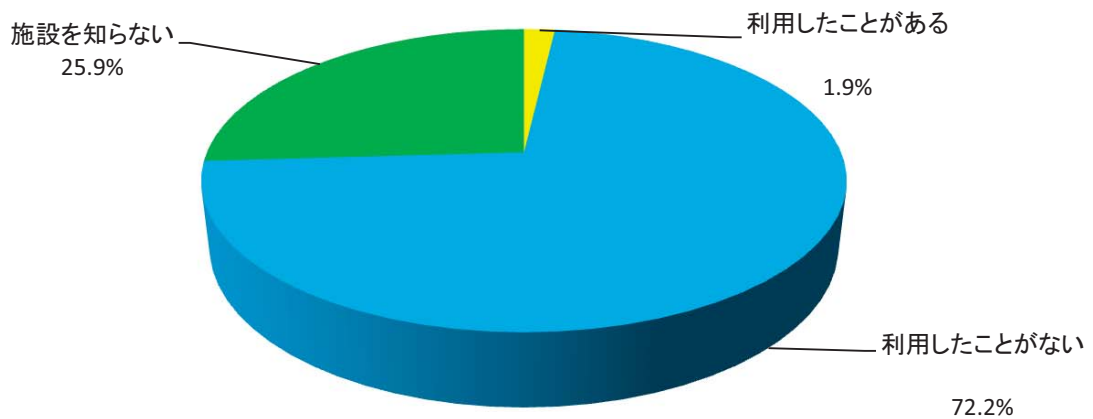


問12. (この設問は必ず回答してください)

「障害者施設(通所施設)」(区内に9施設。広域施設)について

N = 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	利用したことがある	1	1.9%	男性	0				
				女性	1		1		
②	利用したことがない	39	72.2%	男性	5		3	2	
				女性	34	2	30	2	
③	施設を知らない	14	25.9%	男性	4	2	2		
				女性	10		10		
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0

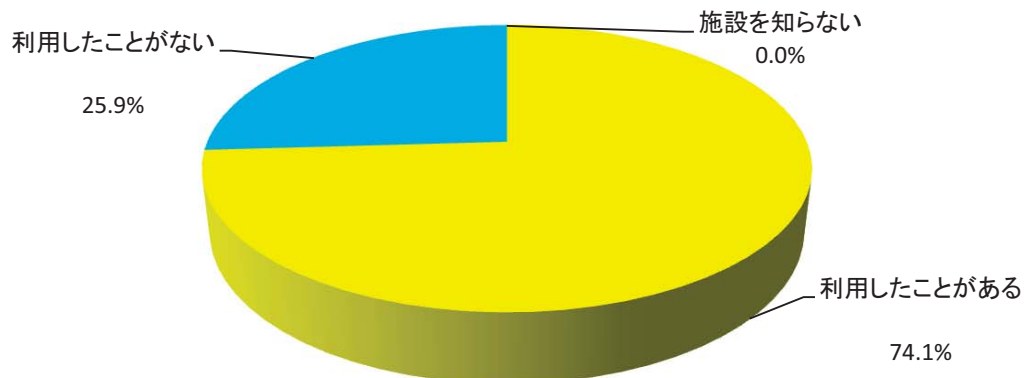


問13. (この設問は必ず回答してください)

「保育園」(区内に44施設。近隣施設)について

N = 54

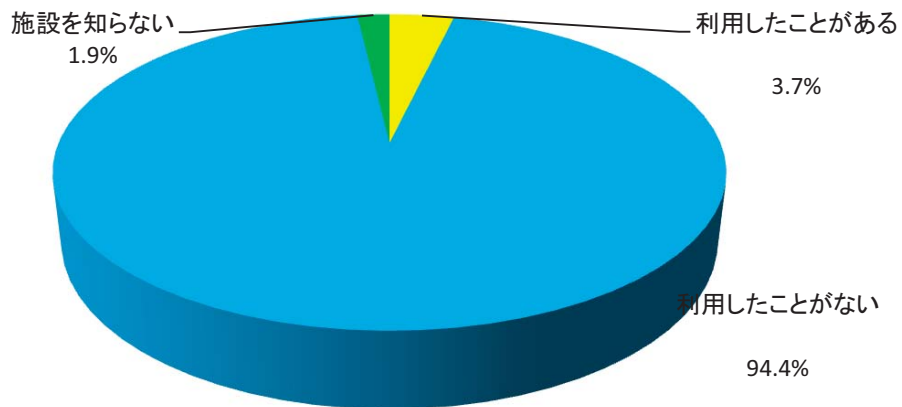
		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	利用したことがある	40	74.1%	男性	4		4		
				女性	36	1	33	2	
②	利用したことがない	14	25.9%	男性	5	2	1	2	
				女性	9	1	8		
③	施設を知らない	0	0.0%	男性	0				
				女性	0				
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0



問14. (この設問は必ず回答してください)
 幼稚園(区内に2施設。近隣施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	利用したことがある	2	3.7%	男性	0				
				女性	2	1	1		
②	利用したことがない	51	94.4%	男性	8	1	5	2	
				女性	43	1	40	2	
③	施設を知らない	1	1.9%	男性	1	1			
				女性	0				
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0

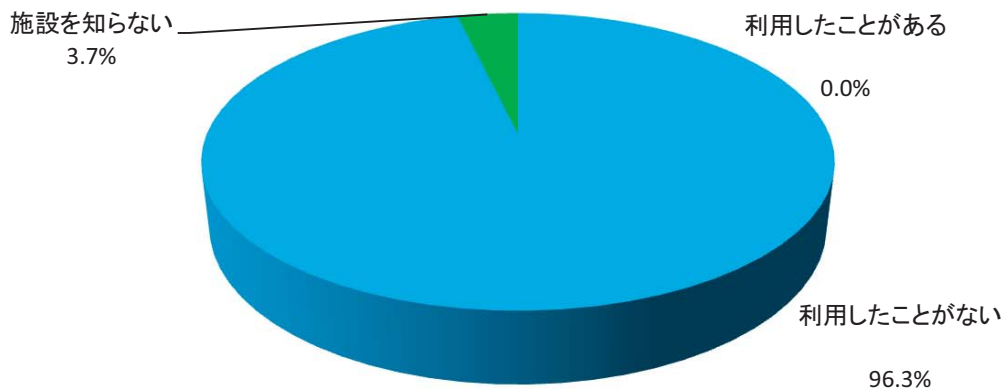


問15. (この設問は必ず回答してください)

「子供園(幼稚園と保育園を一体化した施設)」(区内に4施設。近隣施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	利用したことがある	0	0.0%	男性	0				
				女性	0				
②	利用したことがない	52	96.3%	男性	8	1	5	2	
				女性	44	2	40	2	
③	施設を知らない	2	3.7%	男性	1	1			
				女性	1		1		
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0

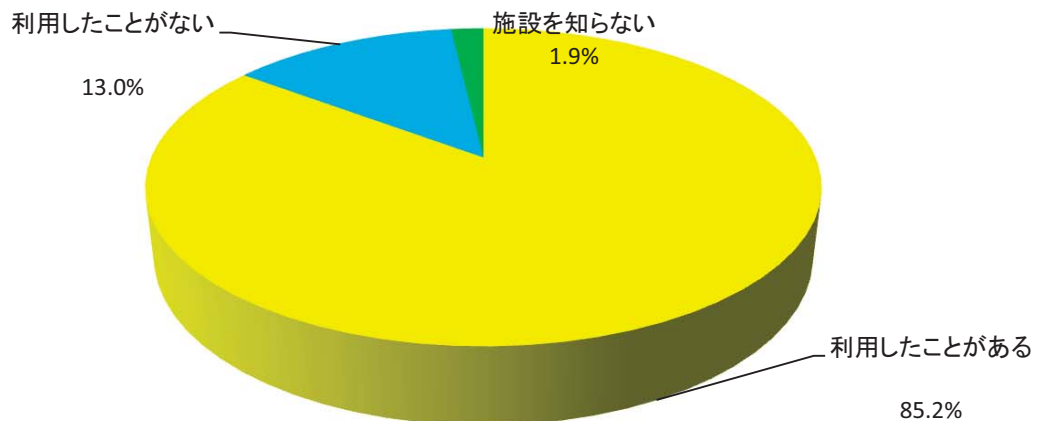


問16. (この設問は必ず回答してください)

「児童館」(区内に41施設。近隣施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	46	85.2%	男性	5			5		
			女性	41	1	38	2		
② 利用したことがない	7	13.0%	男性	3	1			2	
			女性	4	1	3			
③ 施設を知らない	1	1.9%	男性	1	1				
			女性	0					
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

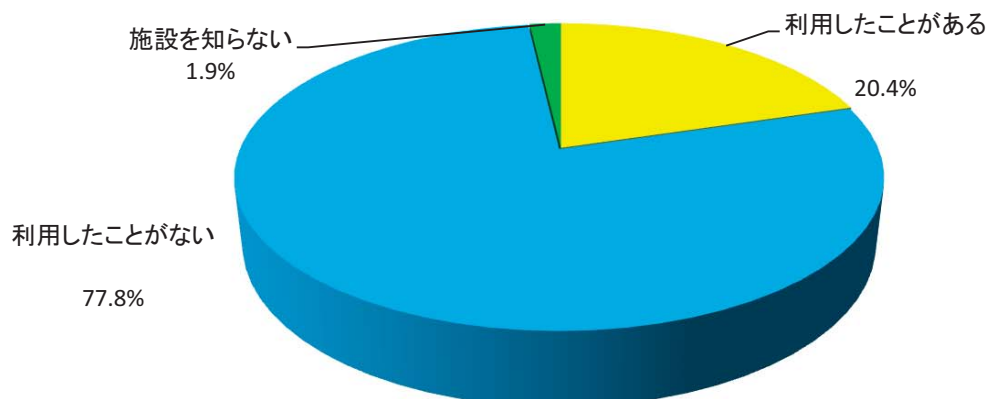


問17. (この設問は必ず回答してください)

「学童クラブ」(区内に11施設(ただし、児童館以外の単独施設)。近隣施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	11	20.4%	男性	0					
			女性	11		10	1		
② 利用したことがない	42	77.8%	男性	8	1	5	2		
			女性	34	2	31	1		
③ 施設を知らない	1	1.9%	男性	1	1				
			女性	0					
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

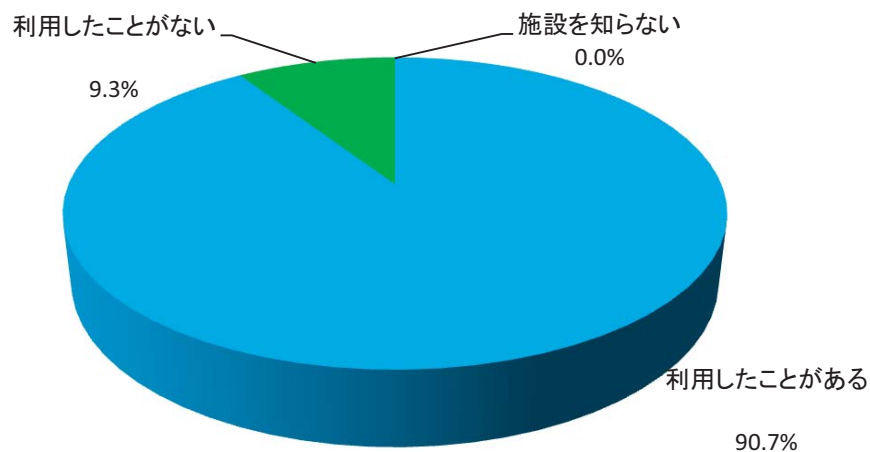


問18. (この設問は必ず回答してください)

「図書館」(区内に13施設。地域施設)について

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	49	90.7%	男性	8	1	5	2		
			女性	41	2	37	2		
② 利用したことがない	5	9.3%	男性	1	1				
			女性	4		4			
③ 施設を知らない	0	0.0%	男性	0					
			女性	0					
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	

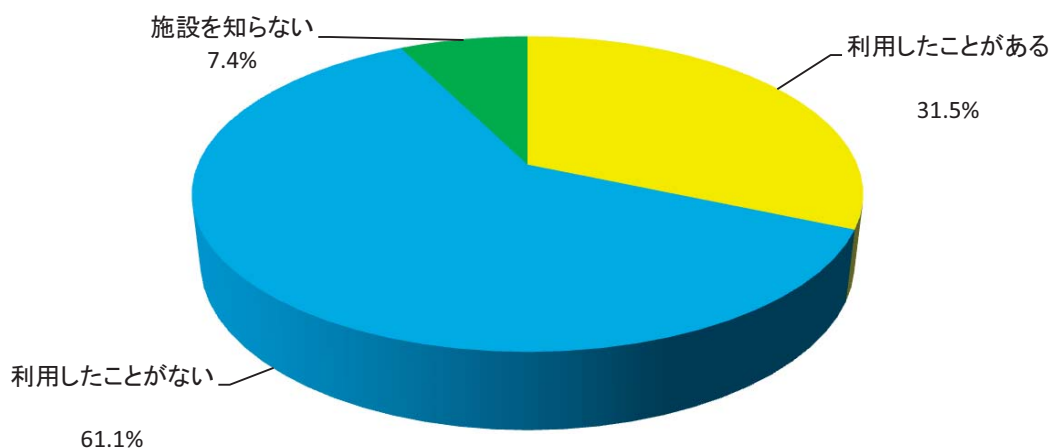


問19. (この設問は必ず回答してください)

「運動場」(区内に8施設。地域施設)について

N= 54

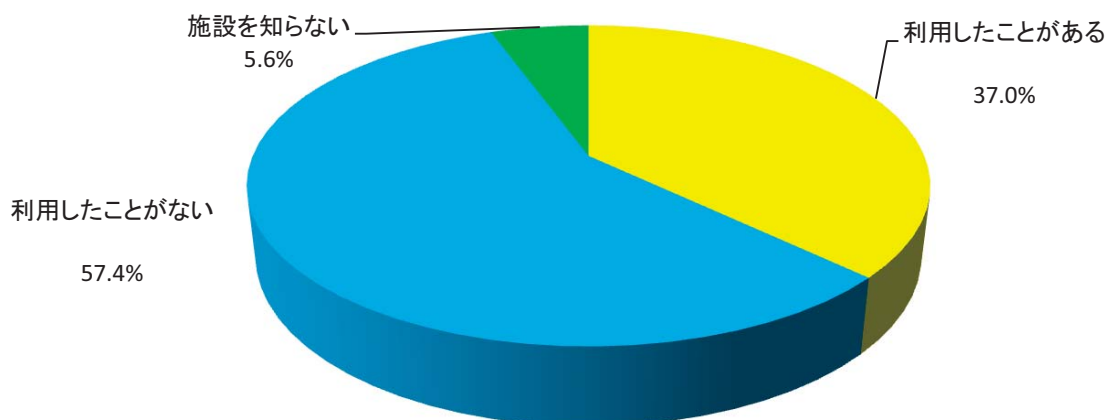
		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
① 利用したことがある	17	31.5%	男性	3		2	1		
			女性	14	1	13			
② 利用したことがない	33	61.1%	男性	5	1	3	1		
			女性	28	1	25	2		
③ 施設を知らない	4	7.4%	男性	1	1				
			女性	3		3			
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0	
			女性	45	2	41	2	0	



問20. (この設問は必ず回答してください)
「体育館」(区内に5施設。地域施設)について

N= 54

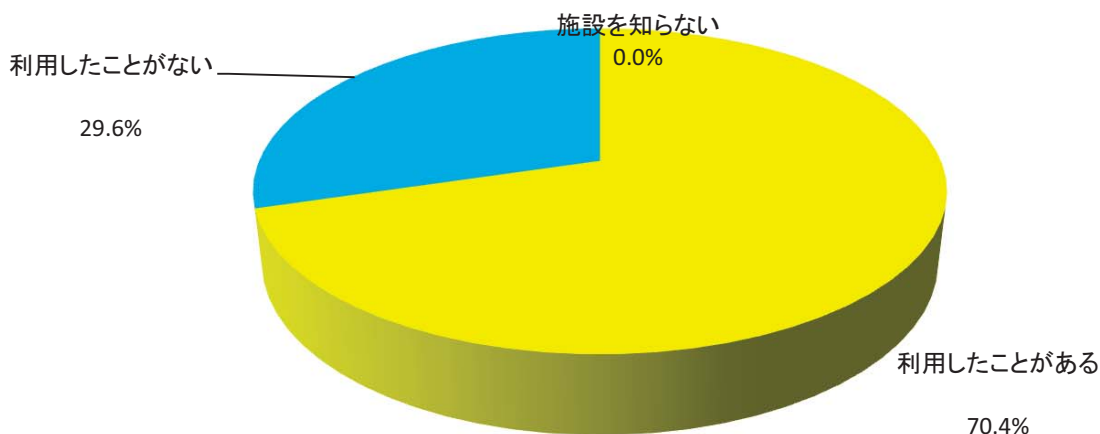
	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用したことがある	20	37.0%	男性	4	1	2	1	
			女性	16		15	1	
② 利用したことがない	31	57.4%	男性	4		3	1	
			女性	27	2	24	1	
③ 施設を知らない	3	5.6%	男性	1	1			
			女性	2		2		
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
			女性	45	2	41	2	0



問21. (この設問は必ず回答してください)
「自転車駐車場(駐輪場)」(区内に39施設。広域施設)について

N= 54

	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① 利用したことがある	38	70.4%	男性	5	1	3	1	
			女性	33	2	29	2	
② 利用したことがない	16	29.6%	男性	4	1	2	1	
			女性	12		12		
③ 施設を知らない	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
			女性	45	2	41	2	0



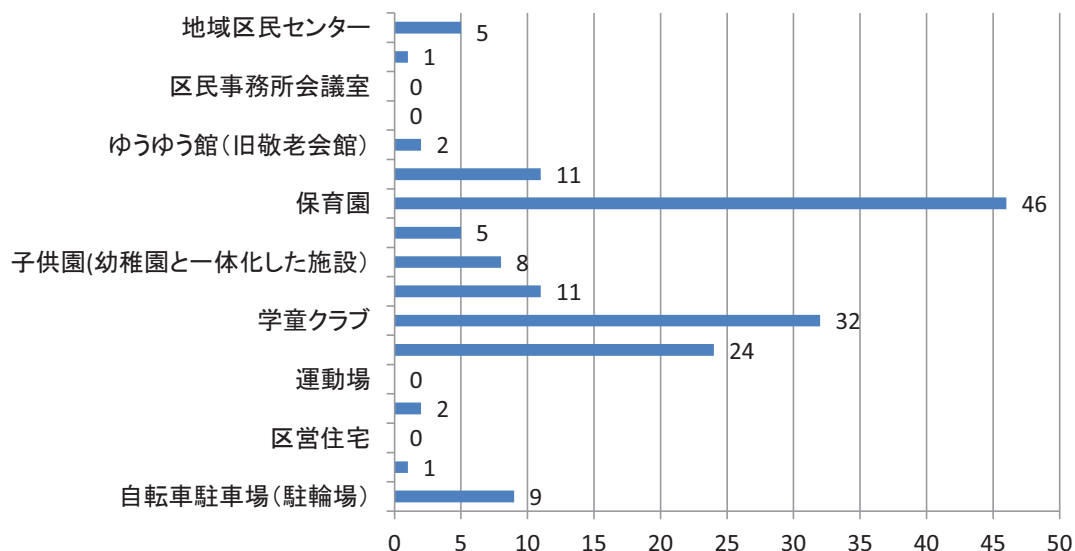
問22. (この設問は必ず回答してください)

仮に、施設の再編整備を行ったとしても、あなたが、将来にわたり優先的に維持すべきと考える
区立施設を下記から3つ選んでください。
(回答は3個まで選択できます)

N= 54

	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	数	割合	男性	女性				
① 地域区民センター	5	9.3%	男性	2	1		1	
			女性	3		3		
② 区民集会所	1	1.9%	男性	0				
			女性	1		1		
③ 区民事務所会議室	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
④ 区民会館	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑤ ゆうゆう館(旧敬老会館)	2	3.7%	男性	0				
			女性	2		2		
⑥ 障害者施設(通所施設)	11	20.4%	男性	2		1	1	
			女性	9		9		
⑦ 保育園	46	85.2%	男性	5	1	3	1	
			女性	41	2	37	2	
⑧ 幼稚園	5	9.3%	男性	1			1	
			女性	4		4		
⑨ 子供園(幼稚園と一体化した施設)	8	14.8%	男性	2	1	1		
			女性	6		6		
⑩ 児童館	11	20.4%	男性	1		1		
			女性	10		9	1	
⑪ 学童クラブ	32	59.3%	男性	2		2		
			女性	30	1	28	1	
⑫ 図書館	24	44.4%	男性	7	1	4	2	
			女性	17		15	2	
⑬ 運動場	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑭ 体育館	2	3.7%	男性	2	1	1		
			女性	0				
⑮ 区営住宅	0	0.0%	男性	0				
			女性	0				
⑯ 高齢者住宅「みどりの里」	1	1.9%	男性	0				
			女性	1		1		
⑰ 自転車駐車場(駐輪場)	9	16.7%	男性	3	1	2		
			女性	6	1	5		
合 計	157		男性	27	6	15	6	0
			女性	130	4	120	6	0

問22. (集計結果)



問23. 区立施設の再編整備に関して、ご意見などありましたらご記入ください。

- ・いわゆる箱モノと、ソフト(人的資源など)が重要な施設(保育園、幼稚園、学童クラブなど)を同列に考えるべきではない。
- ・高齢化が進むのに、利用施設を統廃合するのは如何なものか。公設民営の施設を増やしていけば、現状の規模でも維持できると思う。決して多すぎるといことはない。
- ・高齢者の施設よりも未来の子供たちの施設を充実させるべき
- ・区が運営するべきところと民間施設で代替するところの定義を明確化し、めりはりをつけた運営をするしかない。
- ・荻窪地域の保育サービスの需要の高さに、供給が間に合っていない状況です。若杉小学校の跡地に、認可保育園の設置もしくは誘致をぜひお願いします。
- ・今と同じものを維持する必要はない。自分たちの収入で賄える範囲でサービスを考えてほしい。
- ・公的施設として、利用が少ない＝廃止、とはできない部分もありますから、その分利用料を見直す等で補うしかないのかなと思います。
- ・アンケートに答えながら思いついたことは、例えば、放課後の学校を学童クラブで利用したり、運動場はなるべく廃止して、校庭を一般解放するなどして、一つの区立施設を複合型にして行くしかないのではないのでしょうか？ その分、セキュリティの強化を上げて行くことになると思いますが、既存の数の施設の維持費より安価になるのであれば、大いに複合して良いと思いました。
- ・全てを区で運営していくことは難しいと思う。駐輪場、保育所など、民間業者の参入でもまかなえる施設があれば、積極的に推進・両立していくべき。
- ・区民センターや会議室、児童館などは複合および共用施設にすることで、経費だけでなく、世代間交流にもつながると思います。区立施設の開館時間延長を希望します。延長時間は有料でも構いません。例えば楽器の練習だとか、学童保育にあぶれた子供の受け入れなど、民間にでも託せば利用価値がたくさんあります。最近では節電のために閉館する所がいくつかありましたが、むしろ開館して区民に集ってもらって、家庭の電気もふくめて全体で対応しようという他の地域を見習って欲しいです。
- ・子供たちが使う設備を優先にしたほうが、親は安心して働くことができ、税収のUPにもつながると思います。
- ・設問22は、区営であるべきと考える施設という理解でよろしいでしょうか。その場合、全ての施設を民営化してもよいと考えているので、「将来にわたり優先的に維持すべき区立施設」というものが該当なしでした。ただ、必ず回答せよ、という事ですので、一項目にも選択しました。設問の意味があいまいで答えにくいです。
- ・昨今、共働きが常識になりつつあるが保育園入園が激戦すぎて非常に困っています。少子高齢化と言ってはいるが、兼業主婦率の増加について、もう少し考えていただきたい。例えば、クラスが少なくなっている小学校の空き教室に保育施設をいれて民間企業や保育ママに任せるなど。何年も住み続けているのに、

(問23. つづき)

子育て応援券と待機児童数が少ないからと引っ越ししてきた世帯が入園できて、我が家が入園できないという事態はどうにかならないのでしょうか。本当に困り果てています。

- ・設問22については、3つに絞り切れるものではなく、回答する層に偏りがありうるので、このアンケートだけの回答で決断することはないようにしてほしい。
- ・利用者の少ない施設の維持管理経費、特に受付などの人件費を減らすべく、施設統合など再編すべきである。
- ・ゆうゆう館、児童館の数は十分すぎると感じる。特にゆうゆう館の利用状況から見て最優先に効率化すべき。一方、保育関連施設の充実を切に要望する。
- ・区立でなくても良いので遊休施設を保育園に改造し運営していく取組をさらに推進してほしい。また児童館/学童クラブに関しては、老朽化しているものが多く見られるので予算をかけ、また民間学童の取組などベストプラクティスを研究して、単なる預かり施設としてだけでなく、将来の人材育成という観点から、有意義なプログラムを廉価で実施してもらえるとありがたい。
- ・利益を上げないと維持できないのは分かるが、民間ではできないことを是非やってほしい。私はよく児童館を利用するが、昼間は乳幼児、午後は学童と小学生、土日も家族で利用することが出来るととても有効に活用されていると思う。ゆうゆう館なども、そのようになると良いと思う。
- ・区が区民が利用できる施設があることをあまりアピールしていないように思える。稼働率が低い施設はなくし、保育園のように需要が必ずある施設に整備することが必要なのでは？また学童を小学校の空き教室にすべて移すのも良いと思う。例えば阿佐谷南児童館上の学童だったスペースを有効活用し下の保育園を0歳児から預かれるようにする等の工夫。(4階に保育園を作ることが設備上問題であれば1階の子供家庭センターを4階にうつし、1階を保育園にする)
- ・設問5 回答と同
- ・質を落とすのではなく、数を少なくして質を良くするのがよいと思う。また、立地も駅のそばなど利用しやすければ利用者もおのずと増えてくると思う。
- ・高齢者住宅、駐輪場、図書館は同等に必要なと思う。いずれも、民間委託していいと思うが、区が管理監督責任を負う必要があると思う。
- ・再編整備で区民税が上がるのは仕方ないですが、それよりも子育て応援券の使い道の再検討や少子化を自治体単位で劇的に改善させるような対策を練って下さい。子持ち家庭の優遇、保育園設備を増やす、延長保育や病児保育を増やす等杉並区には率先してやって欲しいです。生まれてからずっと杉並区で育ち暮らし、子供が二人居るので杉並区には頑張ってもらいたい。
- ・自分がほぼ一生杉並区民であるという実績・将来を考えると設問22の施設に関して、今後区立施設として維持する必要を積極的に感じないのは、幼稚園くらい。現在は、平日昼間は勤務のため区外に居るが、退職後は1~5の施設等の利用可能性もあると思っている。再編設備について、30年間というスパンで判断するのは、短期間過ぎないか？自分自身40年以上区民であり、今後20年は区民でいる可能性が高いので、もっと長期の視点で判断すべきかと。なお、運動場・体育館は小学校・中学校の施設で代替不可能なものに限って区立施設として維持をすべきかと思う。松ノ木運動場などは、隣接する松ノ木小学校・中学校、貯水地用野球場？との一体運営を考えてはどうかと思う。
- ・仕事の遅い能力の低い区の職員を減らすか、給与を下げるべき。
- ・◎福祉に関することは最優先。ただし障害者施設を法人で運営しているので 必ずしも区直営でなくとも営利ではなく社会福祉法人化してむしろ補助金に切り替えるほうが良いと考える。(保育園も営利目的ではなく、社会福祉法人に委託し公的補助に切り替えなど。企業委託は絶対反対)◎その他運動・体育施設・会議・集会所等については学校及び保育園等の地域開放を検討して欲しい。特に学校は夜・休日等宿直者がいるので管理出来ると思う。
- ・年金が次世代への負担を強いる構造である以上、子供への施設の手当てを厚くすべき。また子供を育てている世代が働きやすいようにすべき。具体的には、保育園の整備、医療機関の整備をしてほしい。(複数の医療機関の入るクリニックモールの新築と若い世代の医者を誘致してほしい。大病院は結局働いていると通院できないので、働いている世代が子供を連れて行きやすい病院にしてほしい。あと、医者が高齢化しすぎて、知識や薬が古い)
- ・あまりに利用者が少ないなら削除すべし。ただ、知らない方も多いかと。広報をしっかりとすべきだと思います。

(この設問は必ず回答してください)

問24. 保育施設の利用者負担の見直しについて

問24から問27までは、参考資料2「保育施設利用者負担見直し資料」をクリックしてご覧のうえ、お答えください。

この間、女性の社会進出や社会経済状況などにより、区内の保育需要が増大化しており、この状況はしばらく続くものと予測しています。待機児童解消に向け、認可保育所をはじめとした保育施設の整備を進めることに伴って区の経費負担も増加することになりますが、区では、引き続き待機児童対策を推進する必要があると考えています。このことについて、あなたの考えに最も近いものを一つお答えください。

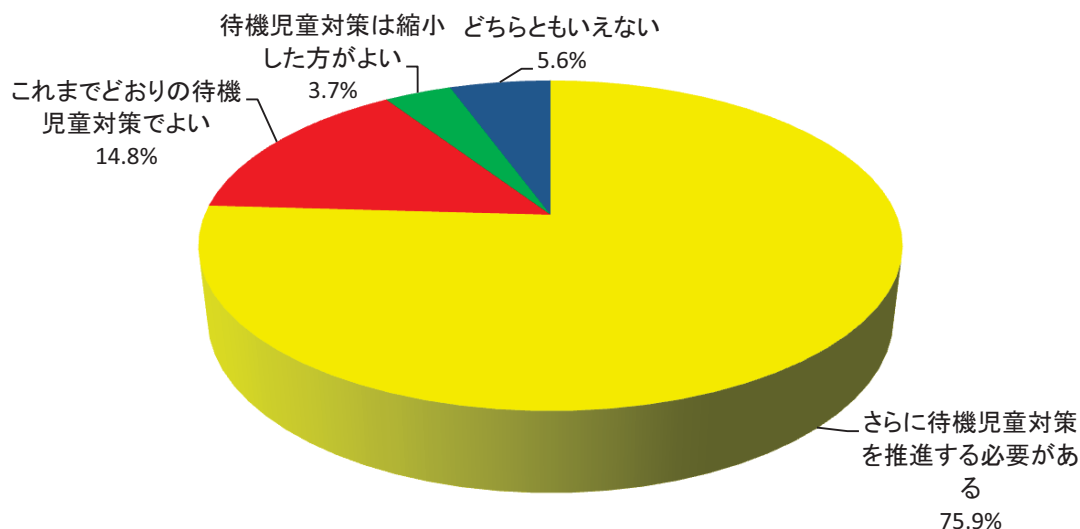
参考資料2は、こちら(下記)をクリックするとご覧になれます。

保育施設利用者負担見直し資料

※報告書巻末に資料のページがあります。

N= 54

	全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
	人数	割合	男性	女性				
① さらに待機児童対策を推進する必要がある	41	75.9%	男性	5	1	2	2	
			女性	36	2	32	2	
② これまでどおりの待機児童対策でよい	8	14.8%	男性	1		1		
			女性	7		7		
③ 待機児童対策は縮小した方がよい	2	3.7%	男性	1		1		
			女性	1		1		
④ どちらともいえない	3	5.6%	男性	2	1	1		
			女性	1		1		
合 計	54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
			女性	45	2	41	2	0

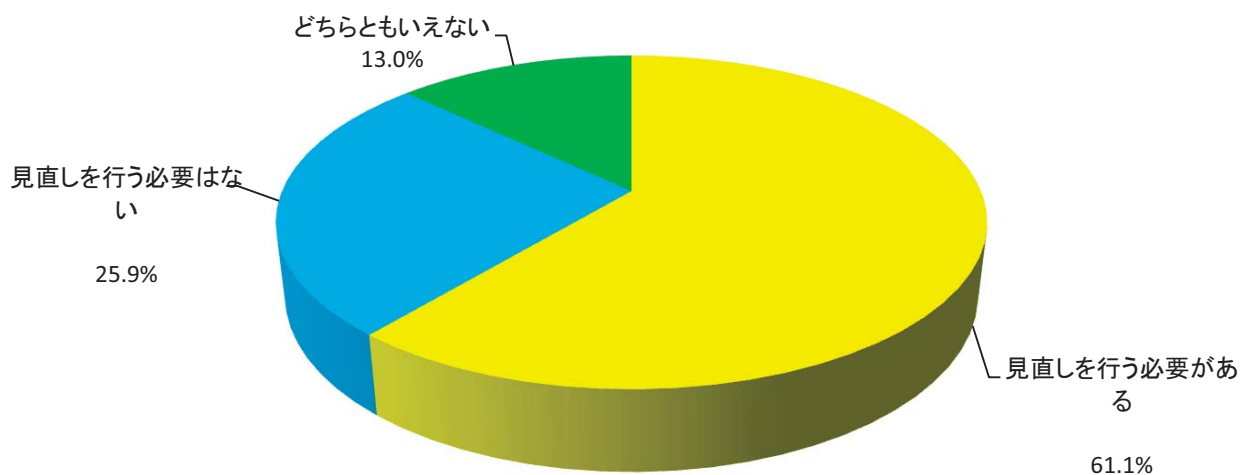


(この設問は必ず回答してください)

問25. 平成24年度の区内の保育定員は約6,800人で、その大半が区立・私立の認可保育所(いわゆる保育園)となっています。そうした中で、認可保育所の保育料は、平成9年に改定した以降、見直しを行っていません。現在の区立保育園(認可保育所)の保育料の利用者負担水準は事業に要する経費の10%程度であることなどから、区では見直しを行っていく必要があると考えています。このことについて、あなたの考えに最も近いものを一つお答えください。

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	見直しを行う必要がある	33	61.1%	男性	6	1	3	2	
				女性	27	2	25		
②	見直しを行う必要はない	14	25.9%	男性	3	1	2		
				女性	11		9	2	
③	どちらともいえない	7	13.0%	男性	0				
				女性	7		7		
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0

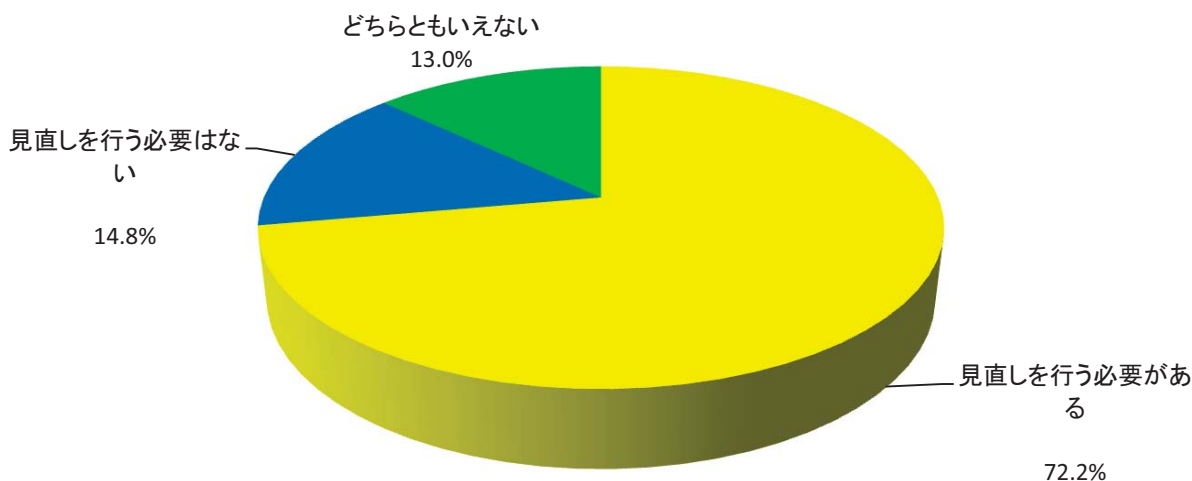


(この設問は必ず回答してください)

問26. 区内の保育施設には、認可保育所のほか、独自に保育料を設定している認可外保育施設(東京都認証保育所、区保育室・グループ保育室など)があります。これらの認可外保育施設の保育料については、区が保護者に保育料補助を行っています。認可保育所の保育料と比較して利用者負担に差が生じている実態があり、区では、見直しを行っていく必要があると考えています。このことについて、あなたの考えに最も近いものを一つお答えください。

N= 54

		全 体		性 別		10・20代	30・40代	50・60代	70歳以上
①	見直しを行う必要がある	39	72.2%	男性	6	2	2	2	
				女性	33	2	30	1	
②	見直しを行う必要はない	8	14.8%	男性	3		3		
				女性	5		5		
③	どちらともいえない	7	13.0%	男性	0				
				女性	7		6	1	
合 計		54	100.0%	男性	9	2	5	2	0
				女性	45	2	41	2	0



問27. 認可保育所の保育料や認可外保育施設の保育料補助制度など、区の保育施策に関するご意見がありましたらご記入ください。

- ・現在第一子が認可保育園に通っており、現在第二子を妊娠中です。育児休業を一年取る予定にはしていますが、第一子の時のように、やっとやっと入れたというような状況がまだ続いているとしたらと出産前から不安です。我が家の場合、経済的に困窮しているから、保育園に預かって頂いて働いているので、保育料が値上げとなったら、これまで以上に残業しなければいけません。そうすると延長保育可能な保育園を増やしてもらって、また延長時間ももっとも長くしてもらわなければなりません。それにより子供と触れ合う時間もより少なくなっていくジレンマもあります。杉並区は、子育て応援券があったり、運動場や公園もよく整備されていて、大変住みやすい地域で私は大好きです。区の施設を利用するときも、親切に案内してくださったりして職員さんも感じが良い方が多いです。これからもより良い区政期待しています。
- ・見直しをすべきでないとはまでは言わないが、保育料の値上げは可能な限り避けるべき。高額な保育料を払えないがために、子供を預けられない、働けない、となっては本末転倒です。子供を安心して預けられる

(問27. つづき)

社会でなければ、働く(働きたい)女性は安心して子供を産めません。これから出産可能年齢の女性人口がどんどん減っていく中で、今、国や自治体が保育にお金をかけずして、いつかけるのですか。

- ・3歳以上児の保育料上限を撤廃すればいいと思う。認可・認証・認可外の保育料を同じにすれば待機児童数が減ると思う。
- ・認可・無認可の保育料を統一するべき不公平な保育を行っている現状は違憲状態である。
- ・民間の認可外保育所と保育所の両方を使用した経験があるが、明らかに民間の認可外保育所のサービスと職員の仕事の丁寧さが上回っている。区立の保育所の使用料を値上げすることはやむを得ない面があることも理解するが、その場合は、施設は変えられないとしても、保育および保育士の質を相当程度向上させないと利用者の納得は得られない(理解は得られるとしても)。
- ・認可保育園の保育料の見直しは必要ないと思います。現状児童福祉の施設であり、所得に応じた負担額となっていることから、保護者の負担を大きくするのは基本的な考えから逸脱してしまうと考えます。認可外保育施設との利用者負担に差があるということであれば、認可園に入園したいのに入園できず認可外保育施設に通わせている家庭の保育料の補助を、現在の認可保育園保育料と同等程度に細分化し手厚くすることが必要ではないかと考えます。今後の未来を担うこともたちに、確かな保育を提供してください。
- ・私は現在年中の息子が区立保育園に通い1歳の娘がグループ保育室を利用しており、収入区分でいうとD21に当てはまる。正直息子の保育料(18000円)は安すぎて申し訳ないと思っている(正直幼稚園より安い)。ただ、施設が古くていただけない、耐震も大丈夫と言われているが2000年以前の診断なので正直かなり心配だ。4、5歳児の保育料はあげてもらって構わないが、建て直して欲しい。保育園は足りないという問題になるが、3歳以上は既存の幼稚園の預かり保育をもっと推進し、0-2歳は小規模な保育室を既存の区施設を改修して作るのがいいと思う、ハコモノは一から作るのにお金も時間もかかるし、少子化の進行度合いでは施設が無駄になる可能性も否定できない。あと、保育園を増やすということは学童を利用する子供も増えるということだ。保育園は1930まで預かってくれて捕食も出るのに同じ保育施設の学童が1830までで捕食なしなのは非常に納得できない。この点は利用料金を上げてもらって構わないから是非改善して欲しい(保育時間を1930までには絶対にお願したい)。
- ・保育園をこれからも運営していただくためにも、保育料をもっと引き上げてよいと思います。少なくとも今の2倍(もしくは経費の2割強程度)の負担は仕方ないかと(急に2倍、とか言うとも反対も多いでしょうが、お金がかかっていることなので仕方ないですよね…)。安いに越したことは無い、という気持ちはもちろんありますが、多少高くても、きちんと保育していただける施設のほうがいいので！(上の子が区の保育園でお世話になり、6年間安心して通わせることができました)また、0歳が一番お金がかかりますから、0歳・1歳・2歳と3歳以上、というように設定を細かく分けてもいいと思います。働く親からすれば、保育園に入れないことのほうが問題ですので、その分、保育定員を増やすなどしていただけたら…と強く思います(杉並区では保育室を設ける等、子育てに力を入れていただきありがとうございます)。それから、正直に申し上げると、応援券を廃止して、その費用を保育園や幼稚園のほうに回していただけたら有難いです…
- ・両親フルタイム勤務、杉並区在住10年以上なのに、認可保育所も保育室にも入れませんでした。なんとか認証保育所に月6万以上かけて通わせています。落選理由が、他の方より少々世帯年収が高いからと聞かされた時にはガックリしました。納税たくさんしている方が不利だなんて。しかも認可外もなかなか入所が厳しいです。不公平感の是正を求めます。
- ・保育園に入園できるか、妊娠中から不安を感じ、育児中もそのことが心配でたまりません。児童館に行っても、保育園の事で頭を悩ませているお母さん達ばかりです。なにとぞ、子供達により良い保育環境を与える事ができるように整備をお願い致します。
- ・とまず、補助制度がある保育施設に入園出来たご家庭は、大半が共働きでしかもご夫婦で正社員というイメージがあります。(違っていたらすみません。)そこを踏まえて意見を申しますと、ダブルインカムで裕福なご家庭が補助のある保育施設に入れて、奥様がパートや派遣など、正社員より不安定な雇用形態のご家庭が待機を余儀無くされて、高い保育料の施設に預けているとしたら、納得出来ません。また、旦那様が安定的な職業に就いていらっしゃるご家庭であれば、住宅ローンがあったとしても、退職金が出たり、定年まで一定の収入が見込めるのですから、民間の正社員世帯より、補助を低くしても良いのではないのでしょうか(気分を悪くされたら、申し訳ありません。)ということで、保育料補助は少し削って良いと思います！

(問27. つづき)

区の財政悪化を少しでも食い止めたいです。ですが、根本的には、夫婦のどちらかの収入だけで安心して暮らしていける社会になれば、待機児童や学童クラブや高齢者施設も減らしていけるのではないかと思うときがあります。

- ・保育施設が不足している現状では、認可外で(認証でも保育室でもなく)何の補助もなく高い保育料を負担してでもいいから、預け先を何とか確保したいと、と頭を悩ませている人が多い。また、気持ちとしては1歳2歳などある程度大きくなるまで自宅で保育したくても、0歳でないと保育施設に入りにくくなるため、仕方なく早くから預ける人も多い。保育料が多少高くなってもいいから、保育施設にもっと入りやすい環境になってほしい。認可のように設備に恵まれていなくても、責任をもって温かく子供を預かってくれればよいので、認証のような保育施設がもっと増えてほしい。杉並区の環境では広い設備・園庭をもつ施設をつくることはなかなか簡単にはできないと思うので、それよりもとにかく預かってほしい。
- ・認可保育園については、毎年現状調査(勤務証明書の確認だけでも。)をして下さい。保育園に入ったら仕事を辞める人や、親と同居する人がいて、一度入園したものの勝ちの状態を見直し、本当に必要な人に再分配して欲しいです。保育料については、低く抑えるほうが、最終的には杉並区の税収もあがります。余裕を持って母親が働き続けられるからです。
- ・世帯の所得差に比べて、保育料の差は少なすぎると思います。
- ・小学校の空き教室などで保育室を作ってはどうか。または学童クラブをつくったり。いくつかの施設を複合にすることで経費は削減されやすくなると思うのですが。小学校に作ることで旧若杉小についても0歳~2歳までの受け入れをし、認可園にしてもらいたいです。保育料については、認可外保育施設の料金が一律でないところが難しいところではありますが、認可外と認可との3歳児以降の差は歴然です。認可については15%ぐらいまで保育料をあげるのはいかたないのかとも思いますが、何よりもまずは待機児童を減らすことが第一かと思えます。保育コストのかかる0歳児から入園させないと、認可には入れない現状のため、育児休暇を短縮して0歳から預けるかたが多いです。1歳児2歳児からでも安心して預けられる状況を整え(少し乱暴かもしれませんが、江戸川区のように認可保育園は一律1歳児からの保育にするのはいかがでしょうか)コストの削減、育児休暇をフルでとれるようにしてほしいです。
- ・利用者負担の見直しを行っても良いので、待機児童に対する不安をなくす努力をして、子育てしていきたい気持ちになる施策展開をしてほしい。
- ・認可保育所(区保育室を含め)を民営に委託することが増えていますが、保育の質に差が出てくるのが懸念されます。(区職員との待遇の違い)民営業者は、若い職員が多い、評判の良い職員は応援に駆り出されるなど、、、できれば身分の安定した公務員の職員で統一していただけると幸いです。
- ・認可に入りたいたのに、入れずに認証に入っている現状の利用者がいる。補助をするのであれば、両者の利用者の差が少なくなるようにするのが、平等ではないだろうか。
- ・認証保育所の助成金は嬉しいが、復職していない育児休暇中の世帯にも支給しているのは如何なものかと思う。本当に保育所が必要な人が無認可で、育児休暇中の世帯が助成金をもらって翌年度の保育園入園に備えているには本末転倒な気がします。復職証明書も取り付けてはいかがでしょうか。
- ・ほんとうに生活のために働かなくてはいけない人ばかりであるのか、また、杉並は充実している、と思込み、無用に保育所目当てで転入してくる層を助長するようなことはないのか。保育所ばかりでなく、学童や、学童終了後の問題など、あまり低年齢のサポートが厚いと、いずれ小学校高学年以降の子どもの居場所の問題として大きく跳ね返って来るだけに慎重にお願いしたい。
- ・階層D21以上のクラスを作り、年収が高い方の負担を増やしていただきたい。また、3歳以降の保育料も上げる必要がある。
- ・認可外保育施設への補助は、保育の必要性があることを要件にし、審査を厳しくすべき。一方で要件がある人には最低限現在のレベルでの補助を維持すべき。認可保育園については特に高所得者層への負担は重くしてよい。

(問27. つづき)

- ・単純に高所得者層の保育料を値上げするのではあまり納得がいくものではない。全体的な負担増をするべきだと思う。また、保育園の維持等のための寄附をつのったり、別の収入を増やすことも考えてほしい。さらに、積極的に民間委託をしたりして経費がかからない様に工夫が必要と思う。現在、子供の数は減っているの、小学校等の空き教室なんかを有効活用して、保育施設として活用したり出来ないでしょうか。
- ・現在、育児休暇中で 保育園に入園できないと復帰できません。仕事を維持できない。少しでも多く、保育施設を増やしてほしい。
- ・ある程度の保育料がかかっても、保育園の質を落とさないでいただきたい。安心して、子供を預けられるのであれば、利用者負担額はもう少し増えても良いと思っています(各家庭の金銭事情はあると思いますが)。
- ・認証園に対する補助が手厚すぎる。少なくとも年収700万円以上の家庭の補助25千円は要らないと思う。補助金を勘案すると認可園の保育料を大きく下回る。また、認可園に関して所得に応じた保育料なのは仕方がないが、下の階層と上の階層の差があまりに大きすぎると思う。保育の質を高め待機児童を解消するという目的で、全体的に保育料を引き上げることには異論はない。
- ・保育料は全体的に値上げしてよいと思います。それを保育施設の整備に充ててはどうでしょうか。認可外園は、3歳以上の料金が認可園ほど安くないため、補助を増やしてもらいたいと思います。私自身、2歳の娘を1年半の間認証園に通わせていますが、大きくなると施設が狭く感じます。広い認可園を希望しても入園が叶わず、さらに費用が認可園に比べて高額になるのは納得がいきません。全ての階層及び子供の年齢において、「認可園の保育料>補助金を差し引いた認可外園・保育室」となるように設定すべきです。
- ・認可保育所の保育料が、ある階層から同額となっているので、ここは所得に応じて差をつけていいと思う。同額である理由がわかりません。補助制度も700万で区切られているので、もう少し細分化してもよいと思う。
- ・待機児童対策については、杉並区は保育室を開設したり、認証保育園も増えたのでとても素早く良い対応をしたと思う。他の地域に比べても、杉並区は落ち着いてきたようだ。ただ、採算の取れない運営をしているのだったら保育料の見直しも必要なことだと思う。
- ・保育園は、保育士の給与が民間に比べて非常に高い点がよく指摘されている。公設公営ではなく、公設民営の保育園を2~3の園でテストケースで試行し、随時アンケート、ヒアリング等を実施する。結果的に、公設公営に比べ費用対効果がさほど変わらないのであれば積極的に公設民営に移行すべき。
- ・認可の基準やサービスの内容を出来得るべく平準化し、均等の負担で年少者の保育・成長に資するべきと考えます。
- ・そもそも平成9年以降、改定していないことに大いに問題がある。特にリーマンショック以降、民間の就労状況は急激に変化し、だれも15年前のような生活を送っていないし、子育ての環境や女性の就労状況も大いに変化している。それを平成24年に問題提起している事自体、公務員が民間の変化を敏感に察知し迅速なサービス提供がされていない最たる例だと感じる。
- ・平成8年って、何十年前ですか？なぜそこまで見直しをしなかったんでしょうか。そっちの方が不思議です。未だに昭和的な「夫は5時に帰宅、母は専業主婦、子は二人で祖父母が健在で同居」と言う家庭をスタンダードとしている施策が本当に信じられません。現在は多様化しているのに、役所が全く世間に追いついていないと感じます。子は宝です。周りのママには「杉並区は政策頑張ってるんでしょ？」と聞かれますが、それは山田区長時代の話で今は又衰退してるように思えます。又、子育て応援券は完全に専業主婦向けです。私たち共働き家庭は使い道が全くありません。内容は誰が考えてるんですか？例えば子供を撮る写真や母親の息抜きのネイルサロンではどうして利用出来ないのでしょうか？オムツやミルクはどうして買えないのでしょうか。あれこそ全く無意味だと思います。又、今仕事についていて定時に帰れる会社の方が稀少です。ほとんど18時過ぎると思います。それなのに延長保育を実施していない園があるのも問題です。又、「保育園に入れる」と言う事＝「仕事をしている」と言う事が当たり前ですよね？それなのになぜ保育園の面談や行事は「平日に行う」のでしょうか？ただでさえ子供が熱を出したら有休を使わなくてはならず、有休を使える環境も物凄く気を遣うと言うのに面談で有休を無くすのは職場に対して非常に心苦しく気を遣うところがあります。子供を預かって頂いて感謝もありますし、もちろん面談は参加したいですが土日や遅い時間等配慮が欲しいです。又保育園をもっともっと増やすべきです。そもそも目的が全く違うことも園

(問27. つづき)

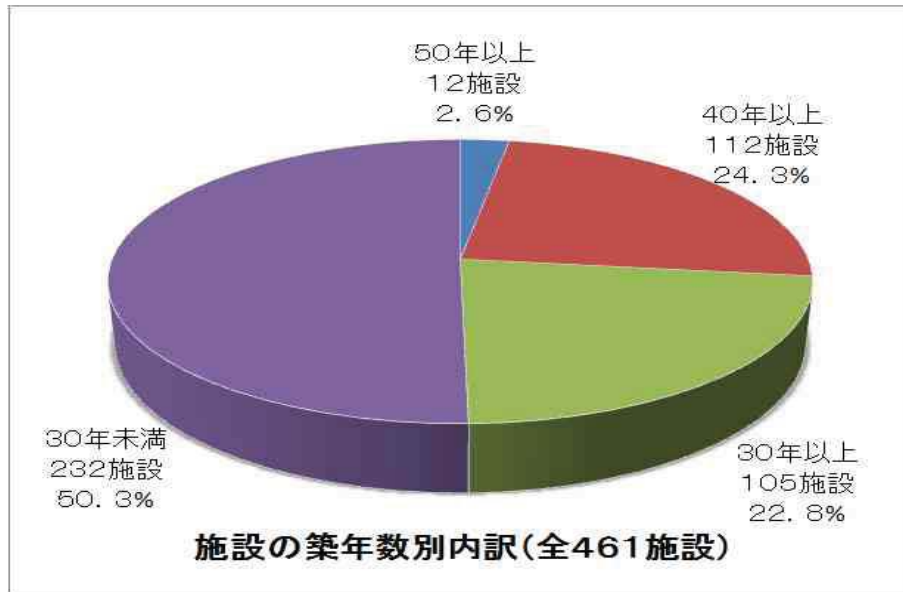
なんてむしろ必要ありません。又、子供を妊娠した時のアンケートで「誰も頼れる人が居ない」と「ごく当たり前」の事を記載したら仕事をしている昼間の15時に「大丈夫ですか」と能天気な電話が掛かって来ました。まるで意味がありませんし、こちらは工作中でそんな事話す時間もありません。電話代もバカにならないそんな事に税金は使うべきではありません。子は宝です。いつから子供を守らない行政、世間になったのでしょうか。厚生省と製薬会社の予防接種の癒着問題もそうですが、つくづく子供を育てにくい世の中だと思います。国がやらないなら自治体から率先してやるべきです。子供が増えればオムツを買い、服を買い、家を買、車を買、消費がどんどん増えます。少子化をもっともって真剣に改革すれば、絶対に近い将来杉並区がもっともっと豊かに活性化する事になります。目先だけでなく斬新な改革を望みます。

- ・認可保育所の保育料は低額所得階層を中心にもう一段階値上げしても良いように思う。認証保育所への補助金は無くなっても構わないかもしれない。
- ・認可外保育施設の保育料補助制度を利用した経験がある。特に0歳児の場合、認可保育園と認可外保育園とでは明らかに施設の差があるので、利用者負担に差が生じるのは当然だと認識している。差を無くす・減らすというのであれば、そもそも認可保育園と認可外保育園との峻別は何のためにあるのか？認可保育園に入園を希望しているが、入園できないのでやむを得ない選択として、施設等の点で基準を満たしていない認可外保育園に入園するのだから、認可保育園と応分の負担をせよというのは、如何なものか。また、区では0歳児用の保育室等の開設により待機児解消対応策をとっているとのことだが、そもそも何故認可園での0歳児枠がどのように少ないのか？特に第2子以降の場合、第1子の保育園継続の点からも、育児休業を長期に取ることは困難なため、9週以降預けられるものなら直ぐに預けたい、できれば第1子と同じ保育園で、という希望が高い。しかし、実際にはたとえば4月生まれの場合、運よく保育室等に入れても希望園が1歳児からの場合、約2年弱、2つの施設に子供を送り迎えすることになり、保護者にとっては相当な負担である。認可園の0歳児枠の拡大を希望する。
- ・認可外の保育園料も認可保育園料金と同じにすべき。待機児童が解消されないのは大問題。
- ・◎働く婦人が増える事は区の財政が潤う事でもあるので早急に整備を。保育環境が充実している事で第2子、3子と出産する家庭増(6子家庭有)◎子どもの権利条約、児童憲章を最優先し今子ども時代を過ごす子どもの為に最低基準に満たない認可外施設の増設ではなく、認可保育園増設し保育料の矛盾を解消して欲しい。
◎認可保育料の基本は応能負担。保育料を検討するとしたら現在の区民生活の水準(バブル崩壊)の実態を十分把握した上で、富める方と困窮者との負担率は同等ではなく収入に応じた細分化の検討を。
- ・フルタイムで勤務していないと保育園に入れない現状を考えると、収入が多いので、保育料は引き上げてもいいが、施設の耐震化などに使用してほしい。(利用者に還元してほしい)小学校はむやみに統廃合せず、施設内に保育園を増やす(調理室のある施設となる)ことで、再利用してほしい。老人関係の施設は民間へ委託か譲渡してほしい。あるいは防災面で不安のある緻密すぎる町並み整備のための等価交換に利用してほしい。
- ・現在の保育室より、前に認証保育園に入れていた方が、補助金を差し引いたら、月額が安かったので、おかしいと思います。杉並区待機児童の数も、どっかのメディアで100人をきっていましたが、どんな計算方法でその人数が出たかも公けにした方がよい。待機児童はそんな数ではないはず。メディアによって数が違うのも問題です。

・老朽化が進む施設と維持・更新経費

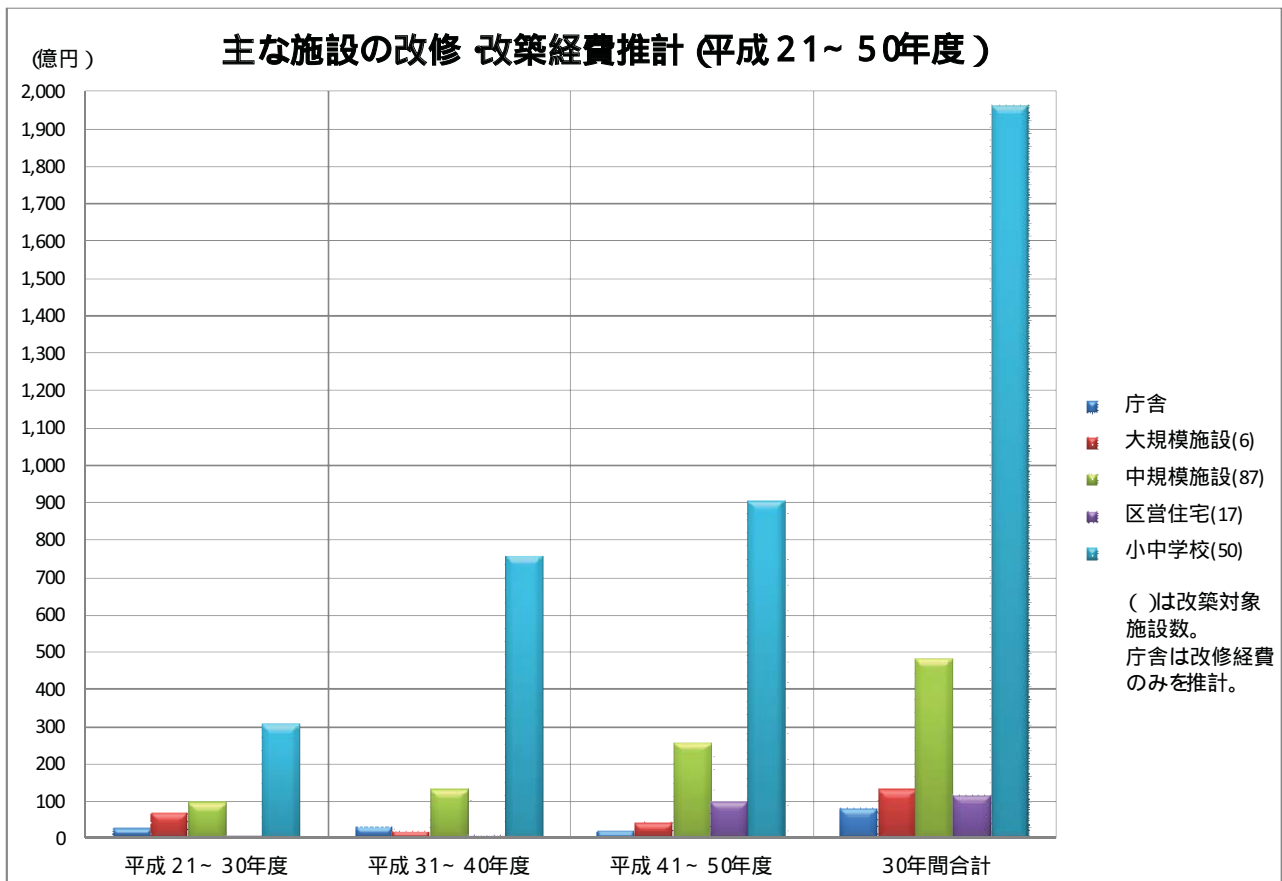
築年数別施設一覧

平成 24 年 4 月現在、区立施設のほぼ半数が築 30 年以上となっており、さらに、1/4 以上が築 40 年を越える状況となっています。50 年以上を越える施設は、2.6%にとどまっていますが、10 年後には約 19%になる見込みです。



改修・改築経費

仮に、現在ある区の全施設を廃止せず、現在の規模で建て替えるとすれば、庁舎・大規模施設(延床面積が 2,000 m²を越える施設)・中規模施設(保育園・児童館・ゆうゆう館、図書館等)・区営住宅・小中学校の改築・改修にかかる経費は、今後 30 年間で約 2,766 億 2,000 万円(平成 21 年 4 月 1 日時点)と推計され、大きな課題となっています。

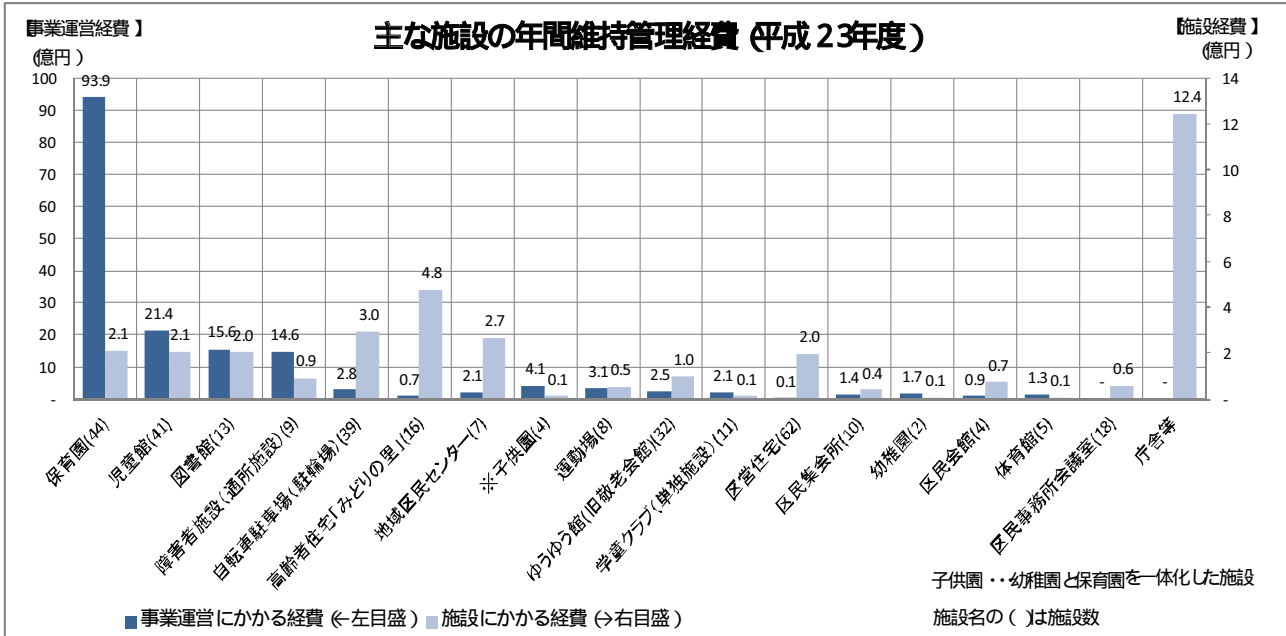


維持管理経費

施設を維持・運営していくためには、多大なコストがかかります。

維持管理経費には、主に「事業運営にかかる経費（事業経費や委託料、職員人件費など）」と「施設にかかる経費（光熱水費、修繕費、清掃費、賃料など）」があります。

平成23年度の学校を除く区立施設の維持管理経費は、年間約217億円となっており、そのうち、保育園や障害者、高齢者施設などの福祉施設が約7割を占めています。



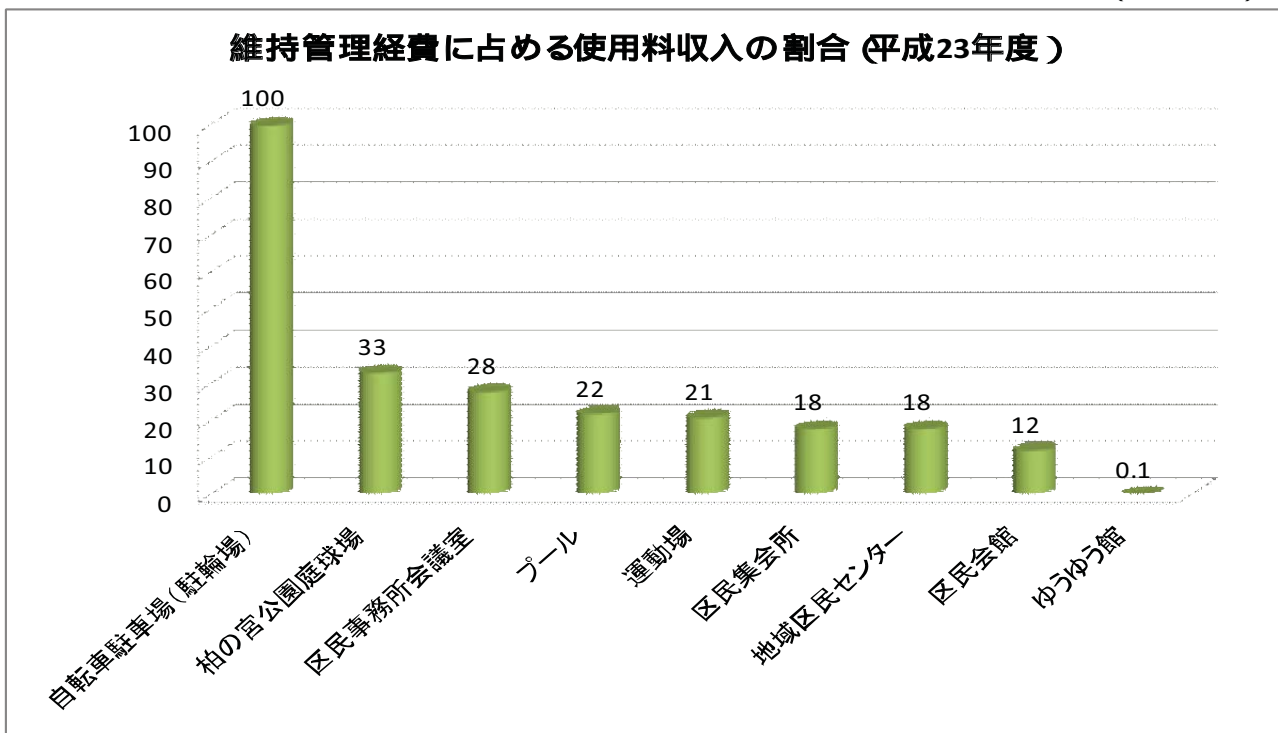
維持管理経費に占める使用料収入の割合

区が施設使用料を徴収している施設における、維持管理経費に占める収入の割合は、ほとんどの施設で30%以下となっています。

ゆゆう館(高齢者施設)は、60歳以上の区民の使用は無料となっているため、その割合は0.1%と非常に低くなっています。

一方、自転車駐車場(駐輪場)は、使用料収入で施設の維持管理経費を賄うという考え方で維持管理を行っています。

(単位：%)

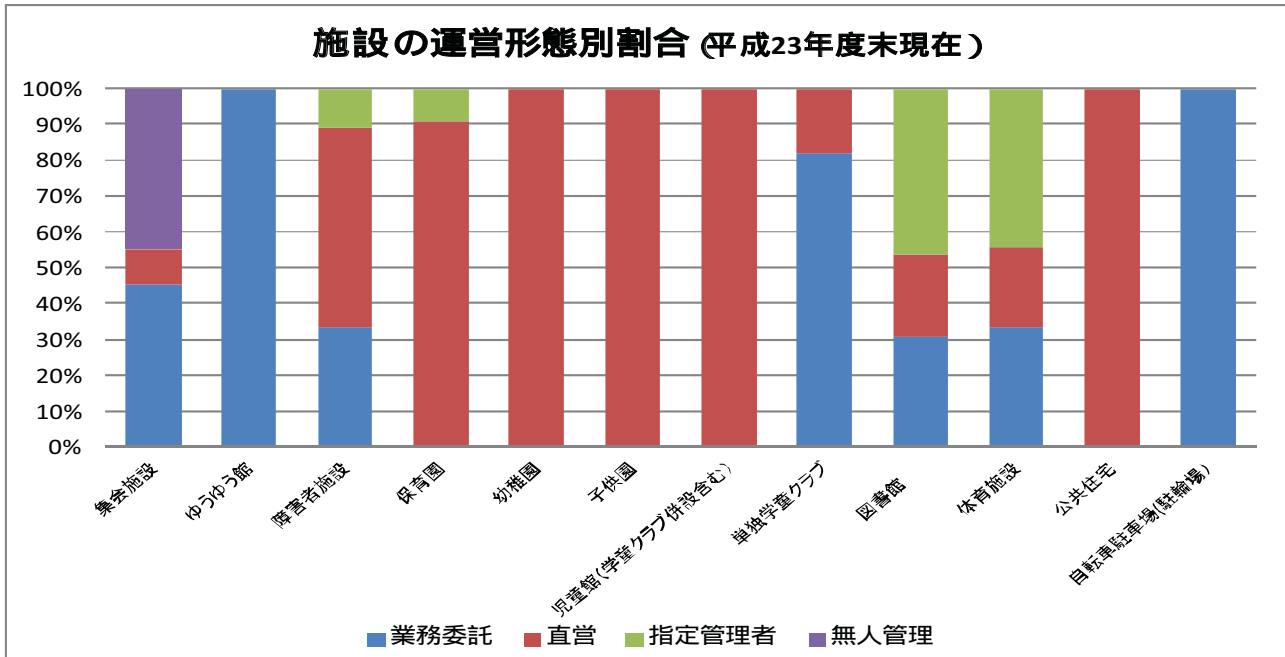


施設の運営形態

施設の運営形態には、区が直接運営する施設（直営）のほか、民間のノウハウを活かしたサービスの向上や施設の効率的な運営を行うため業務委託や指定管理者制度が導入されています。

業務委託は、集会施設やゆうゆう館、自転車駐車場などの施設に多く導入され、また、指定管理者制度は、体育施設や図書館、保育園に導入されていますが、施設によって直営の割合の高い施設や、または、すべて直営となっている施設があります。

指定管理者制度とは、民間事業者やNPO法人などの団体がそのノウハウや経営手法を活用し、区に代わって公の施設を運営・管理することにより、利用者のニーズに対応したきめ細やかで効率的なサービス提供を行う制度。



その他、施設の老朽化等に関する課題

区立施設の中には、耐震診断の結果、耐震性の不足が明らかとなった施設があり、全て27年度までに耐震化を図ることとしています。

また、平成12年4月1日に東京都から移管された清掃関連施設は、移管後20年間は、引き続き清掃事業に関連した施設として使用することが定められていますが、耐震性の不足を抱えている施設、用途を廃止している施設もあり、今後の活用方法が課題となっています。

また、学校統廃合に伴い生じた跡地の活用も課題となっています。

(1) 耐震改修が必要な施設 *24・25年度に改修・改築等が計画化されている施設を除く。

杉並清掃事務所、杉並会館、産業商工会館

(2) 平成12年4月1日に移管された清掃関連施設

杉並清掃事務所、方南支所、下井草分室、旧杉並中継所

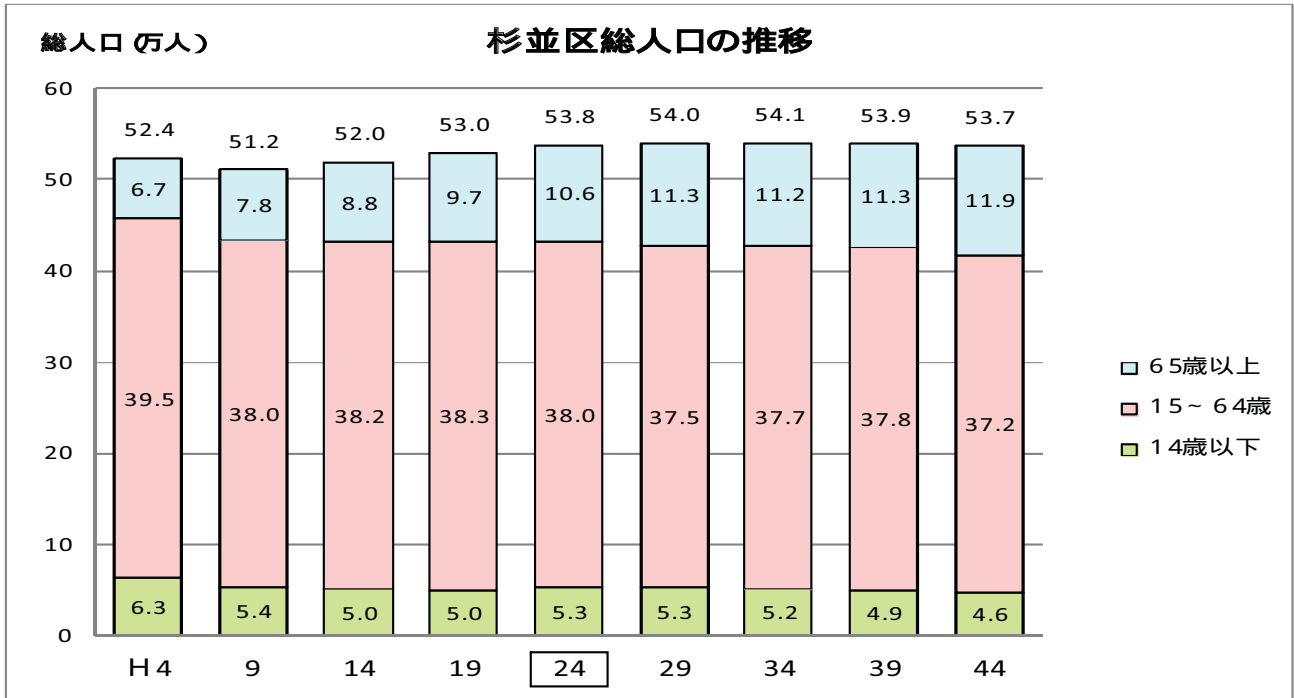
(3) 学校統廃合による跡地

旧若杉小学校跡地

・人口の推移と施設利用状況の変化

総人口の推移

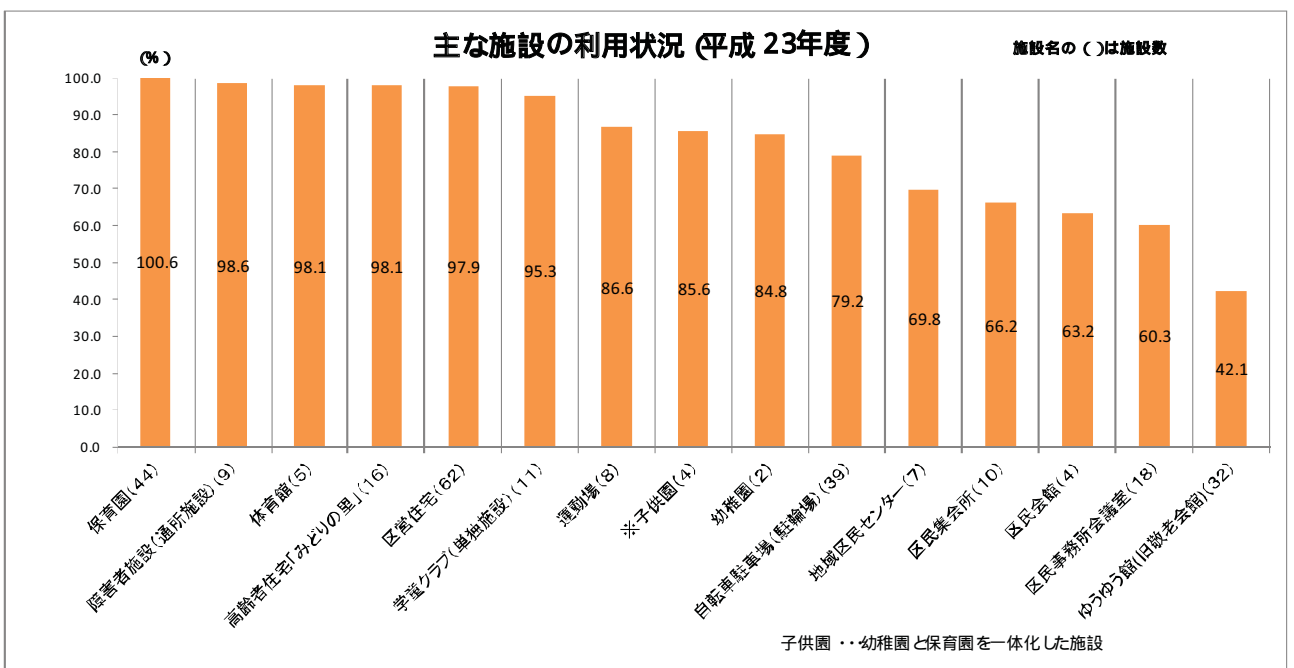
杉並区の総人口（住民基本台帳と外国人登録の合計）は、平成9年までは減少傾向にありましたが、その後増加傾向に転じました。平成44年までの推計では、ほぼ横ばいに推移するものと予想しています。また、年齢構成を平成4年と平成44年との比較で見ると、老年人口（65歳以上）は、約7万人（12.8%）から約12万人（22.1%）と大きく増加する一方、年少人口（14歳以下）は約6万人（12%）から約4万6千人（9%）に、生産年齢人口（15歳以上64歳以下）も約39万人（75%）から約37万人（69%）に大きく減少するものと見込んでいます。



（各年1月1日現在。平成29年以降は推計値）

主な施設の利用率

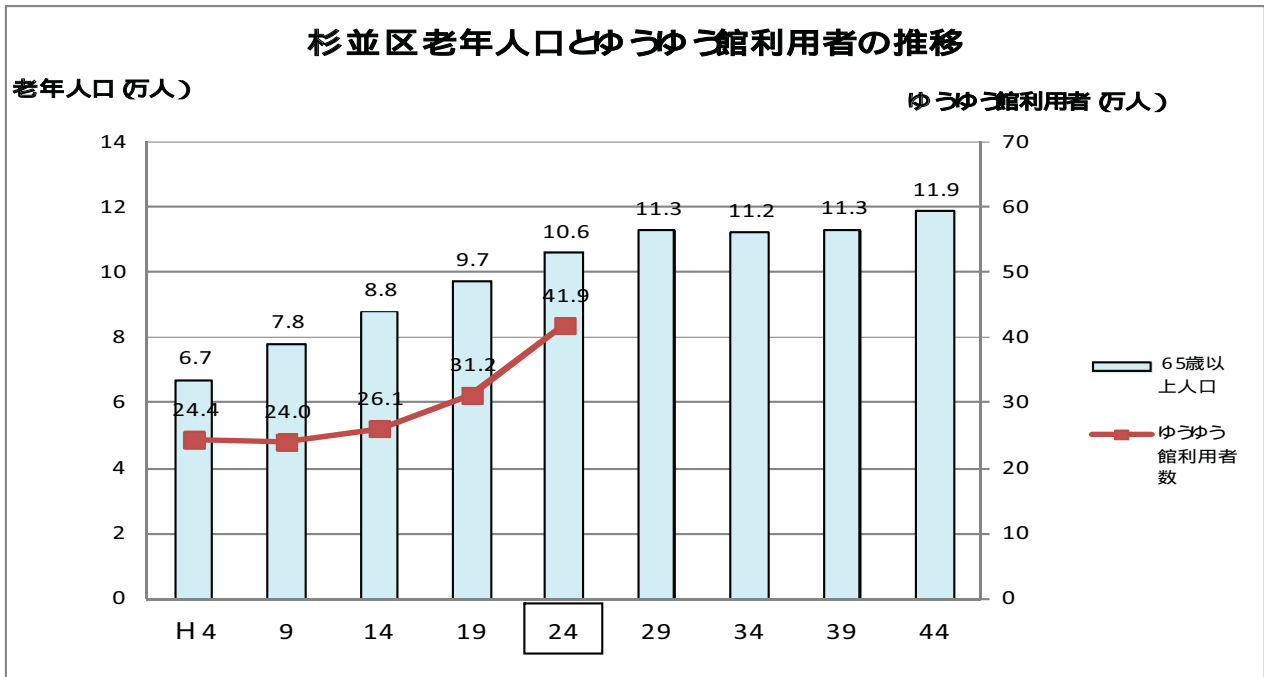
施設の種類によって、利用状況には大きな違いが見られます。保育園と学童クラブは、経済状況や就労形態の変化などにより、利用希望者は増加しており、保育園の平成23年度の利用状況は100.6%と、施設定員を超えたものとなっています。また、高齢者・区営住宅や体育館も、95%を超える高い利用率となっています。一方で、区民センターなどの集会施設の利用率は、いずれも60%台にとどまり、ゆうゆう館（旧敬老会館）については、42.1%となっています。



老年人口の推移とゆうゆう館利用者の推移

ゆうゆう館（旧敬老会館）の利用者数は、平成14年度までは、ほぼ横ばいでしたが、NPOとの協働事業（施設内にてNPOが講座等を企画・開催）が開始された平成18年度以降、増加の傾向にあります。

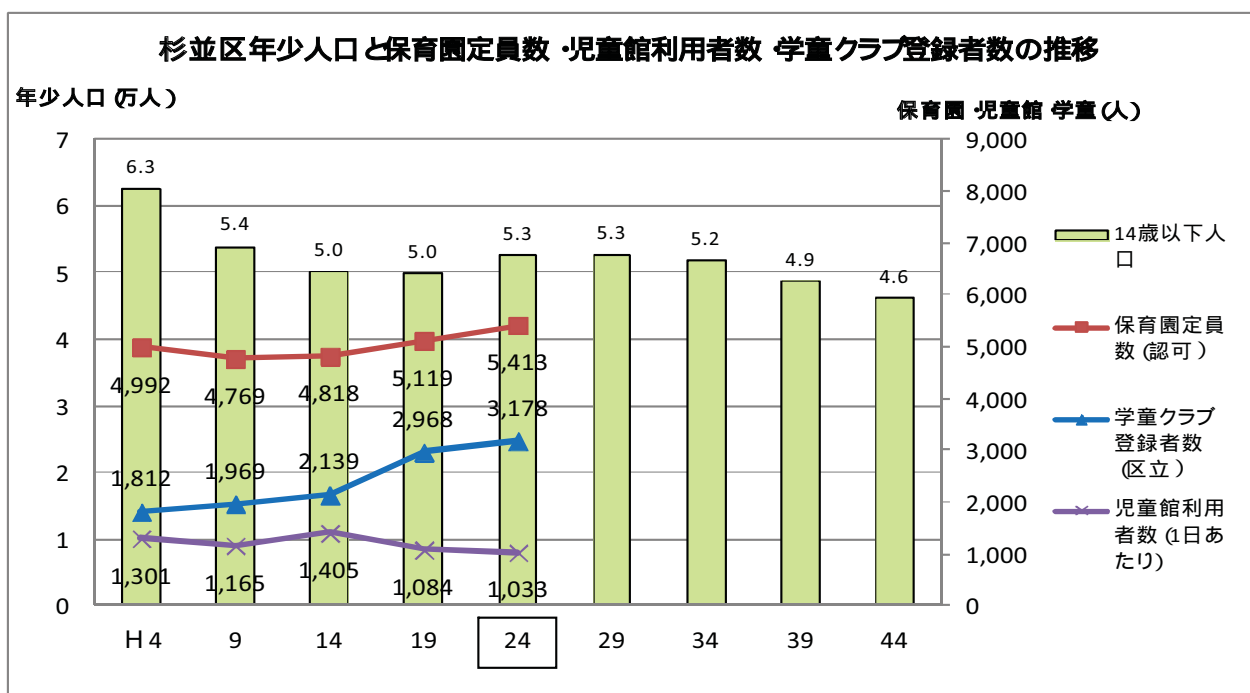
一方、団体利用の利用枠数はここ数年増えているものの、利用率は42.1%にとどまっています。特に夜間利用は利用率14.4%と低い状態が続いています。



（老年人口は各年1月1日現在で29年以降は推計値。ゆうゆう館利用者数は年度内の利用者数、但し24年度は23年度数値を代用。なお、ゆうゆう館では、18年度からNPOとの協働を開始。）

年少人口の推移と保育園・児童館・学童クラブ利用者の推移

年少人口の減少に伴い、児童館利用者（小中学生。但し、併設学童クラブ利用者除く）は、概ね減少傾向にあります。一方で、保育需要の増加に伴い、保育園定員数及び学童クラブの登録者数は増加しています。

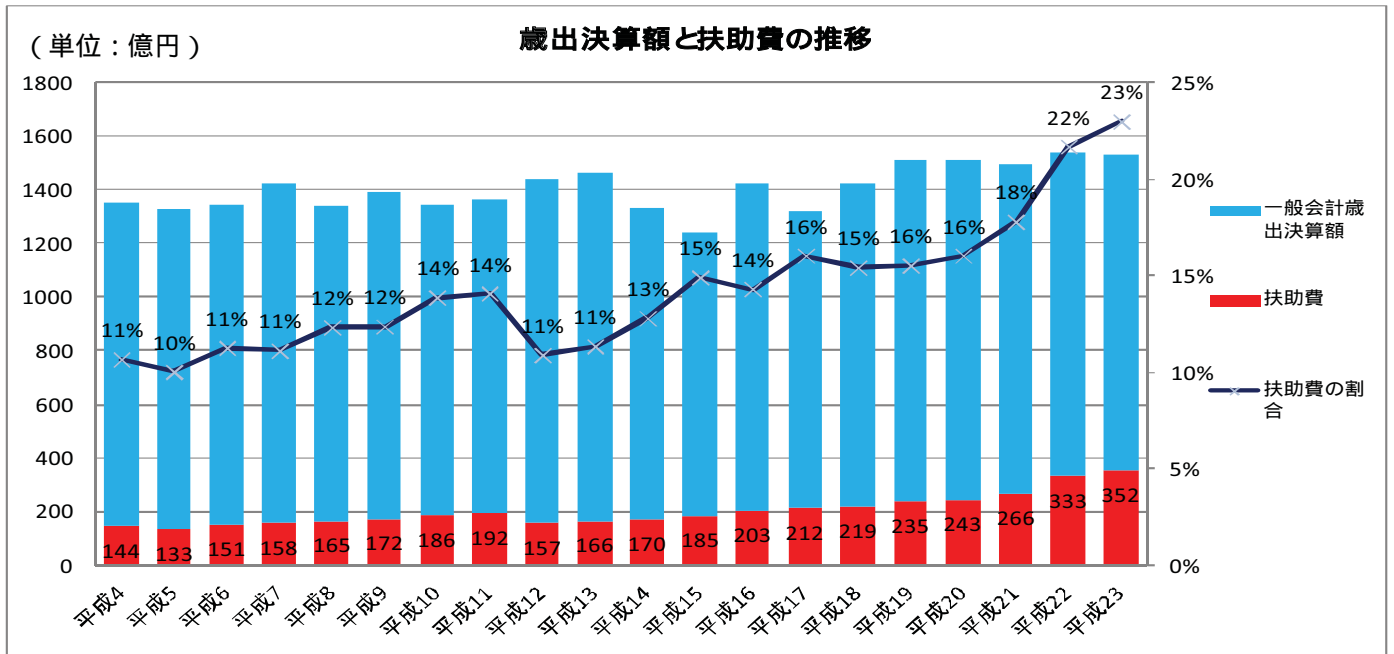


（年少人口は各年1月1日現在で29年以降は推計値。保育園定員数 学童クラブ登録者数は年度当初の数値、児童館利用者数は年度内の併設学童クラブ利用者数を除いた小中学生の利用者数、但し24年度の学童登録者数及び児童館利用者数は23年度数値を代用。なお、保育園定員数は、認可保育園の定員数。）

区財政の現状と課題～ 厳しい財政状況

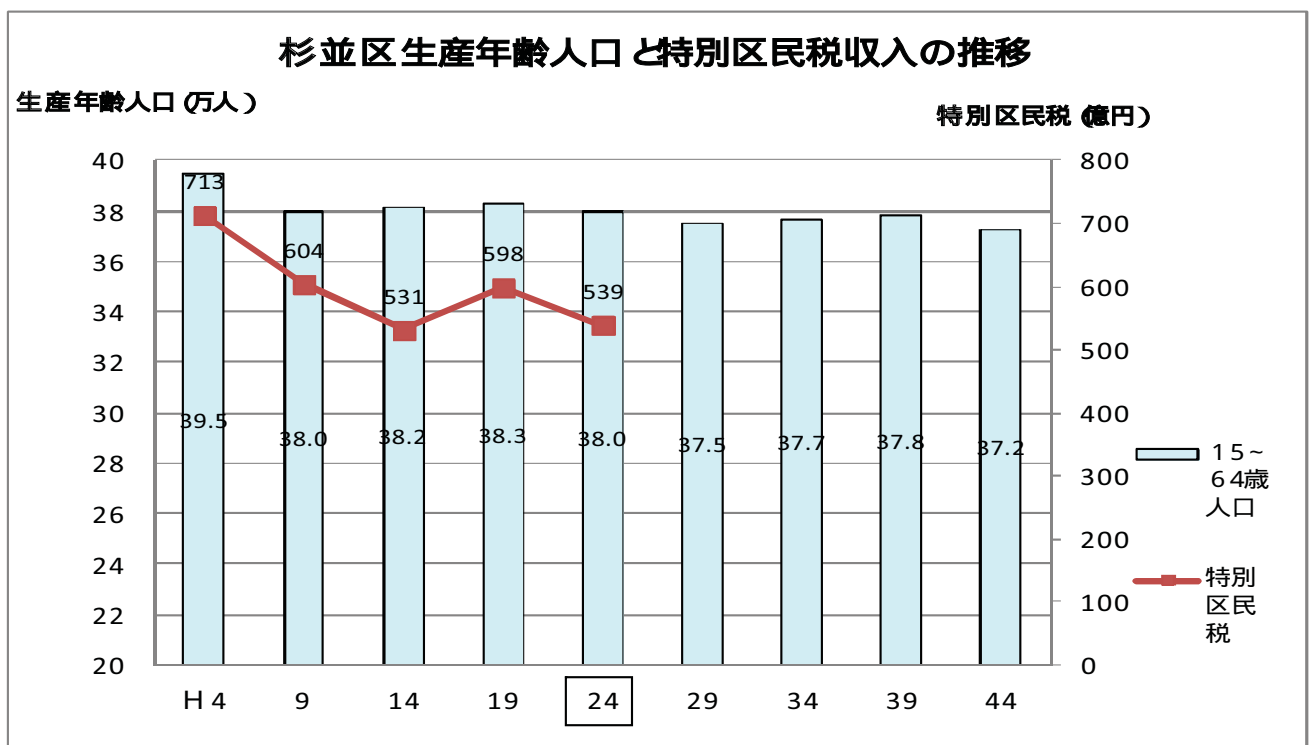
扶助費の増加

扶助費は、社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対して法律に基づき支出する経費です。平成12年度は、介護保険制度の導入に伴い扶助費は一時的に減少したものの、その後は一貫して増加しており、平成23年度は352億円と、平成4年度の144億円に比べ約2.4倍に増加しました。歳出総額に占める割合も11%から23%に12ポイント増加しています。今後とも、少子高齢化の進展に伴い、扶助費はさらに増加していくことが見込まれます。



生産年齢人口と区民税収入の推移

杉並区における特別区民税は、平成4年以降減少傾向にあります。これは、景気の低迷が大きな要因となっていますが、主な担税層である生産年齢人口(15～64歳)の減少もその一因となっています。今後、生産年齢人口がさらに減少することが見込まれる中で、税収の伸びは厳しい状況となっています。

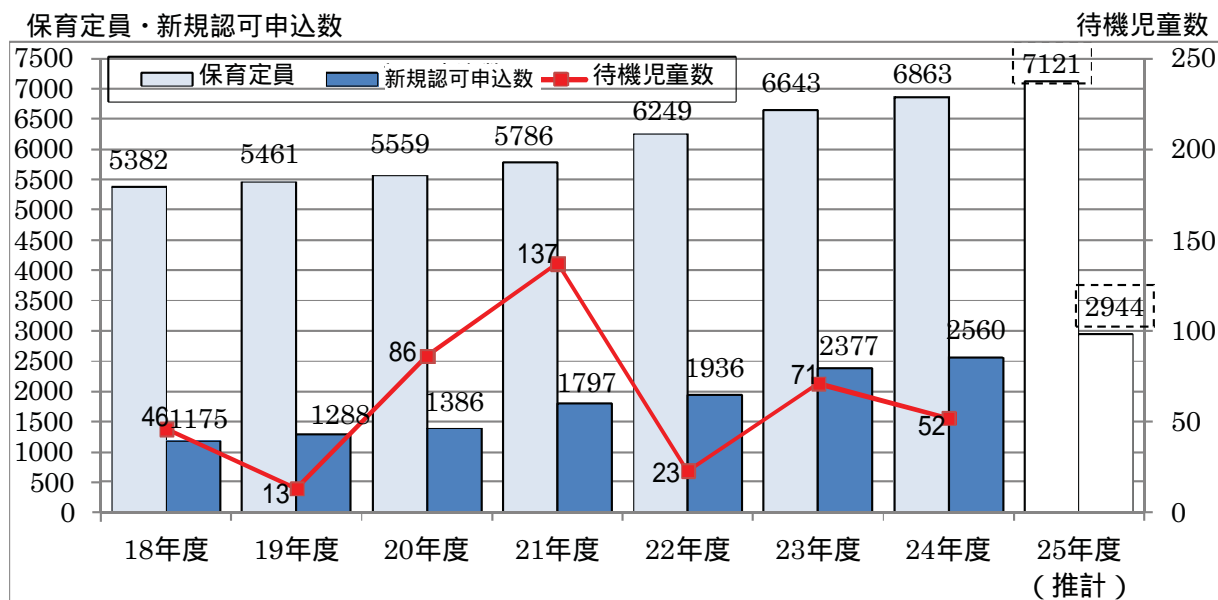


(生産年齢人口は各年1月1日現在で29年以降は推計値。特別区民税は、平成19年度までは各年度の決算額で、平成24年度は当初予算額。)

保育施設の利用者負担の見直しについて

【資料1】 保育定員と待機児童者数の推移

女性の社会進出や厳しい経済状況などにより、保育需要は増大しており、しばらくはこうした状況が続くと見込まれます。



保育定員：認可保育所、認証保育所、杉並区保育室（区保育室）等の合計

新規認可申込数は認可保育所の各年4月新規入園申込数

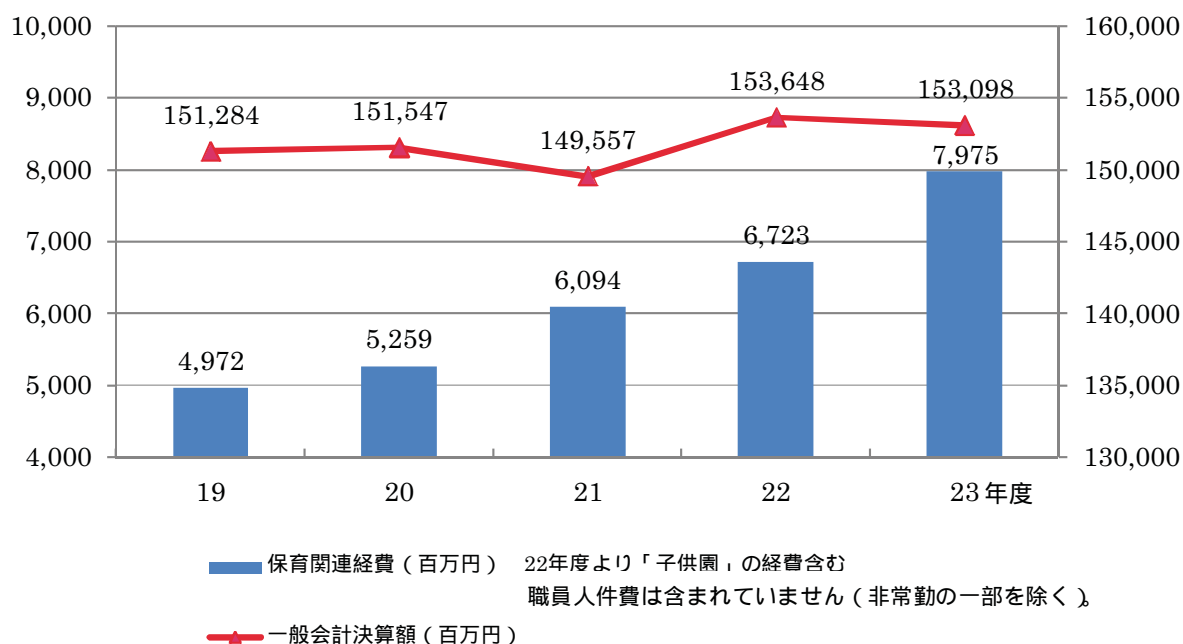
待機児童数は各年4月時点

認証保育所とは、都の独自の制度で、国より穏やかな設置基準を満たした保育施設

杉並区保育室とは、杉並区が待機児童解消の緊急対策として設置した独自の保育施設

【資料2】 一般会計決算額と保育関連経費決算額の推移

待機児童対策を進める中で、保育関連経費は一貫して上昇しています。



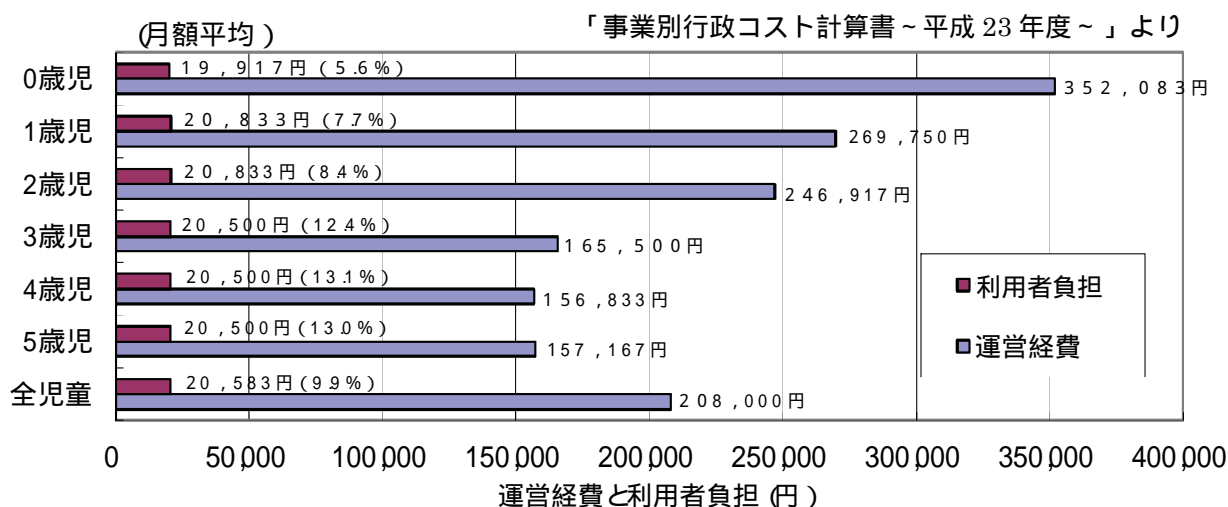
【資料3】 平成24年度認可保育所の保育料表 所得階層により、保育料が異なります。

認可保育所の保育料は、所得が高い層（3歳児の13階層以上、4歳以上児のD9階層以上）の保育料が頭打ちとなっています。こうした現行の保育料については、平成9年の改定以降、見直しを行っていません。

階層	前年の世帯の所得税額等				保育料(月額)			階層別 児童分 布(%)			
					3歳未満児	3歳児	4歳以上児				
A	生活保護世帯				0円	0円	0円	0.6%			
B	非前A 課年階 税分層 世所得を 帯得税除 き	住民税非課税世帯			0円	0円	0円	4.7%			
C		1	住民税課税額均等割のみ			1,900円	1,300円	1,300円	0.4%		
		2	住民税所得割5,000円未満			2,400円	2,000円	2,000円	0.5%		
		3	住民税所得割5,000円以上			3,100円	2,700円	2,600円	2.0%		
D	A 階層を 除き 前年分 所得税 課税世帯	1	所得税課税額1,700円未満			6,700円	5,600円	5,600円	0.8%		
		2	"	1,700円	以上	9,300円	未満	8,300円	7,300円	7,200円	1.6%
		3	"	9,300円	"	16,700円	"	9,400円	9,300円	9,200円	1.5%
		4	"	16,700円	"	33,300円	"	15,400円	10,900円	10,800円	3.5%
		5	"	33,300円	"	50,000円	"	19,100円	12,700円	12,600円	4.3%
		6	"	50,000円	"	66,700円	"	21,500円	14,300円	14,200円	4.4%
		7	"	66,700円	"	83,300円	"	23,600円	15,800円	15,700円	5.0%
		8	"	83,300円	"	102,500円	"	25,500円	17,000円	16,900円	5.2%
		9	"	102,500円	"	135,900円	"	27,500円	18,200円	18,000円	7.5%
		10	"	135,900円	"	169,200円	"	29,200円	19,500円		6.4%
		11	"	169,200円	"	202,500円	"	31,000円	20,700円		6.3%
		12	"	202,500円	"	235,900円	"	32,500円	21,600円		5.4%
		13	"	235,900円	"	269,200円	"	34,200円	22,600円		3.7%
		14	"	269,200円	"	302,500円	"	35,700円			2.8%
		15	"	302,500円	"	335,900円	"	37,200円			2.2%
		16	"	335,900円	"	369,200円	"	38,500円			2.3%
		17	"	369,200円	"	402,500円	"	40,000円			2.0%
		18	"	402,500円	"	569,200円	"	43,400円			7.1%
19	"	569,200円	"	735,900円	"	48,900円	4.8%				
20	"	735,900円	"	902,500円	"	53,700円	3.5%				
21	"	902,500円	以上			57,500円	11.5%				
保育料は、前年の世帯の所得税額等に基づき決定します。 公立園も私立園も同額です。 階層別児童分布は、平成24年3月の数値です。								100.0%			

【資料4】 区立保育園の歳児別児童一人当たりの経費と利用者負担

区立保育園（認可保育所）の利用者負担は、運営経費の約10%となっています



【資料5】 保育施設別の利用者負担比較 認可保育所の所得階層に対する認可外施設の保護者負担
認可保育所と認可外保育施設では、保護者負担に差が生じています。

